

平成 20 年度
セント・ピーターズバーグ市派遣
高校生親善研修生報告書

平成 20 年 8 月 1 日(金)～8 月 15 日(金) 15 日間



Takamatsu International Association
財団法人 高松市国際交流協会

目 次

1. 日程	1
2. 親善研修生 報告書 I	
香川県立高松高等学校 2年 和田 沙江子	
日誌・活動記録	2
感想文「Laugh Learn Play in St. Petersburg」	23
3. 親善研修生 報告書 II	
香川県立高松高等学校 2年 太田 雅己	
日誌・活動記録	25
感想文「親善研修を終えて」	33

日 程

8月1日	6:20	高松駅集合
	6:35	高松駅発 リムジンバスにて関西空港へ
	10:07	関西空港着
	12:50	関西空港発
	12:00	デトロイト着 入国手続き
	15:24	デトロイト発 タンパへ
	18:01	タンパ着
<hr/>		
8月14日	9:42	タンパ発
	12:22	デトロイト着
	15:40	デトロイト発 関西空港へ
8月15日	18:20	関西空港着
	19:15	関西空港発 リムジンバスにて高松駅へ
	22:47	高松駅着 解散

日誌・活動記録

香川県立高松高等学校 2年 和田 沙江子

8月1日 (金)

朝 6時25分に高松駅集合。重たいスーツケース2つを引きずる私がJTBの人からかけられた言葉は「スーツケース2つは飛行機に乗せられないよ。4~5万払わなきゃ。」…へっ？これが私のフロリダへの研修の幕開けだった。あんまりよくないシチュエーション。

出発式が終わり、6時35分バス出発。3時間爆睡。

10時15分 関西空港でチェックイン終了。荷物は2つまで預けることができ、ほっと一安心(汗)。すぐに搭乗ゲートへ向かった。

12時50分 離陸。13時間のフライトは流石に長くてしんどい。おまけに飛行機の中はクーラーがガンガンで寒かった。でもすごく眠くて2回の食事以外は殆ど寝た。途中で太田君のズボンと毛布に水を溢してしまい…ごめんね。期待と不安を抱きながら未知なる都市、St. Petersburg に想いを馳せている。

11時20分 (ここからアメリカ時刻。日本との時差は13時間) Detroit 空港到着。私のアメリカ本土初上陸！嬉しさで胸が弾んだ。うまく入国審査、対処できるかな。パスポートとボーディングパスを持って列に並ぶ。でもやっぱりアメリカの警備は私の想像を超えていた。指紋登録に顔写真。係りの人に「もっと」とか「左手」とかって片言の日本語で言われて、思わずにんまり。そこまで緊張しなかった。多少のトラブルもあったけど、無事入国審査と税関を通過、乗り換えのために再び荷物を預けた。手荷物検査も厳重。靴まで脱がされた。Detroit 空港で初の米ドル買い物。1ドル59セントのスプライト飲んだ。まだまだ時間が余っているので、赤いトラムに乗って行ったり来たり。時間潰しにはもってこいの乗り物だった。



15時24分 NW0490 離陸。周りには殆ど日本人いない。でもまあ寝ていたから問題なかったけどね。

18時30分 Tampa 空港到着。ボーディングブリッジを出たところで Ms. Wykell と会った。感じのいい人で安心。その後 Host Family 全員の出迎え。とても温かく出迎えてくれて、私の不安も吹っ飛んだ。一度に沢山の人を紹介され、頭の中はパンク状態。早くみんなの顔を覚えなきゃ。風船をもらった。

19時過ぎ、Greg (1週目の Host Family のお父さん) の車で家へ。高速道路を使って30分くらい。Judy (1週目の Host Family のお母さん) にも挨拶した。4歳の Zachary も3歳の Sierra もまだ寝ずに待っていてくれて嬉しかった。私専用の部屋と浴室が用意されていたのでびっくり！

20時前から Greg と一緒にステーキ食へに行った。9oz のステーキを食べたけれど、大きすぎて大変！流石、食料大国アメリカだなあと思った。その後 St. Petersburg をドライブ。高級住宅街やダウンタウンの夜景を見た。毎月第1金曜にパーティーが開かれるようで、すごく賑わっていた。ここでは、20時半に日が沈むようだ。けれどその分日の出は遅く、6時前。日本より全体的に2時間遅れているのかな。

22時前に帰宅。疲れていたため早めの就寝。

8月2日(土)

6時30分 起床。意外と準備に時間がかかった。

7時30分 みんなと一緒にリビングで過ごした。Judyはまだ寝ていた。Zacharyはとてもやんちゃな男の子。Sierraはオシャレに興味があるみたい。2人は私が昨日もらった風船が大好きみたいで取り合いしている。Sierraは私の使っている消しゴムに興味津々。あちこち消して後片付けが大変！Zacharyは靴を脱ぎ捨てるばかり。朝からお祭り騒ぎ。

8時 GregとSierraとZacharyと一緒に朝食に行った。子供2人はお絵かきに夢中。ベーコンエッグを食べたけれど、やっぱり多すぎて食べ切れなかった。レストランから直接Sawgrass Lake Parkへ。でも、私がカメラを家に置き忘れていたのでわざわざ取りに帰った。ガソリン代がもったいない。

ごめんなさい。

Sawgrass Lake Parkでは、トカゲや蛇、蛙など、いろいろな生物を見た。Gregによると、今はちょうど子育ての時期で、アリゲーターが60頭くらいいるそうだが、残念ながら母親1匹しか見られなかった。でもこんなに近くでアリゲーターを見たのは初めてで興奮した。想像以上に大きかった。もちろん川の中には沢山の魚が、水辺には珍しい鳥達が自由気儘に過ごしている。ZacharyとSierraを交互に抱っこしながらの自然体験は、日本では考えられないくらい多くの野生動物を見られて良かった。子供2人が私の所へ積極的に来てくれるのが嬉しかった。

St. Petersburgでは年に300日以上が晴れなのに高松のように水不足にはならないようだ。Floridaでは雨は5分で止むらしい。でも大量にスコールのように降る。車に戻る時には大雨。すぐに止んだけど。

家に帰ってお土産を渡した。喜んでもらえて本当に良かった。Gregは「えびせん」に驚いていた。日本ではお馴染みの食べ物も所変われば珍しいんだな。Sierraはハローキティが大好きでキティのガムがお気に入り。その後Gregが仕事の写真を見せてくれた。彼は写真家で、美しい写真がいっぱい。ペルーや南米に行った時の猿や鳥の写真、スポーツ選手の最高の瞬間写真など…すごく感動した。写真の中の対象物が生き生きと輝いているように思えた。流石！写真ってこんなに綺麗なものなんだなって改めて感じた。その時、母が私宛にJudyのパソコンを通してメールを送ってきた。Owen夫妻あての英語のメールに2人とも感動。母、こんなに英語できたっけ？

それからお昼ご飯を食べに行った。サラダを食べた。久しぶりのヘルシーフード。

13時過ぎ ZacharyとSierraをベビーシッターに預けて、JudyとGregと共にTampaデパートへ。とても広くて自分が今どこにいるのやら…。でも洋服の種類とかは日本とあんまり変わらない。そしてTargetに行った。30分間の自由時間。アメリカ独特のお菓子をいくつか買った。アイスを食べた後、食料品店にも行った。店内の大きさは日本とあまり変わらないけれど、商品は私達が普段目にする2~3倍くらい大きさ。全ての商品がかでかサイズ。カートも3倍くらい大きい。皆さんそのカートが満杯！信じられない。



17時 Gregのお父さん登場。彼とJudyとGregと私でTropicana球場に向かった。Tampa Bay Raysはとても人気で、混んでいて駐車場を見つけるのも一苦勞。Gregが応援用に配っているネックレスを取ってきてくれた。球場内に入ると、もう誰がどこにいるのやら…。グッズショップでお買い物。その後スタンドへ。なんと!!!116のKで最前席だ。もう本当にただただ嬉しくて。Tropicanaはドーム型の球場でクーラーがガンガンで寒いくらい。特等席だからもちろん選手全員の顔も見られたし、Raymondとも写真撮ることができて幸せ。このチケットは知り合いの人から手に入れたらしい。本当に感謝。試合が始まるとすぐに盛りあがってきた。Raysは絶好調。途中でGregと一緒にエイを触りに行った。20分も待たなければ触れないほど人気。エイを触ったのは今回が初めて。イルカのような感触だった。スタンドに戻って引き続き観戦。ラスト1イニングでは観客みんな総立ち。9-3でRaysの勝ち!するとチアガールやRaymondが出てきて、私達の目の前で踊った。そしてコンサートへ突入!いろいろな人が出てきて歌ったけれどなにを言っているのか意味不明。たとえこれが日本語だったとしても分からなかっただろうな。でもすごく素晴らしくて素敵な時間だった。日本にはないノリで指笛とかが凄かった。もちろん私は出来ないけどね。家に戻るとGregのお父さんとお別れ。桃の種で作った手作りの置物をもらった。細かい部分も丁寧に作られてあって嬉しかった。ありがとう。



8月3日(日)

6時30分起床

7時15分 Sierraが私の部屋のドアノブをがちゃがちゃ。ドアを開けるとSierraとZacharyがベッドの上に来てきた。2人も私の携帯電話がお気に入り。

7時45分 JudyとZachary、Sierraと朝食。フレンチトーストを食べて満足。その後20分くらいドライブしてJudyの両親の住んでいるピンクタワーのマンションへ。想像を絶する素敵な部屋。綺麗。私も一度でいいからこんな贅沢なマンションに住んでみたい。水着に着替えてバルコニーに出てみると、その風景は筆舌に尽くしがたいものだった。どこまでも延々と続くCLEARWATER BEACH。太陽の光で海が燦然と光り輝き、透き通るような白



さの砂浜。街全体を見渡せる。Floridaには山がないから目の前に何も遮るものはない。私は絶対にこの光景を忘れない。大好きだ。みんなでビーチを背景に写真撮影。ZacharyとSierra、帽子被ってかわいい。下に下りてJudyと浜辺を歩いた。1時間くらいかな。他のみんなはプールに残っている。やっぱりFloridaの日差しは強い。サングラスは必需品。Sierraは貝殻が好きなので、Judyは貝を拾いながら歩いている。砂はとても細かくてさらさら。しかし貝がいっぱいある所は痛い。St. Petersburgのシンボルのペリカンも沢山見か



けたが、なんとここのペリカンも茶色。白いイメージしかもっていなかった私には少し奇妙に感じられた。イルカを見ることも出来るそうだが、またまた残念ながら私達が行った時にはいなかった。砂浜では大勢の人が日光浴中。みんな肌が真っ赤になっていた。それから Judy と泳いだ。あまり泳ぎが得意ではない私も、足のつかない所まで行った。正直怖かったけれど、溺れずにすんで良かった。続いて軽く日光浴。Judy と並んで目を閉じて風を感じていた。St. Petersburg は本当に平和な街。心地よい風に鳥の囀り。静かなひと時。この街いいな。

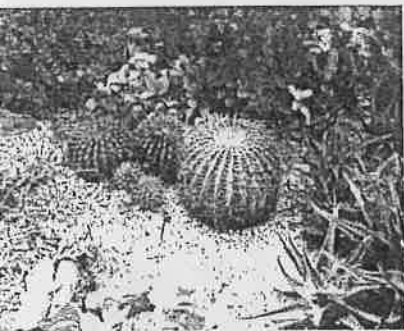
しばらくして上に上って着替えて、今度は Judy のお父さんとドライブ。彼はスポーツカー（オープンカー）に私を乗せてくれた。橋からの眺めは最高。町並みを一望できた。撮影スポットとか町の説明をしてくれた。St. Petersburg で一番砂浜の綺麗なビーチにも行った。本当に砂を踏んでいる感触がないくらい細かい砂。気持ちよかった。それから車を止めて、Pirate Ship と船着場に向かった。PIRATES of the CARIBBEAN の好きな私は Pirate Ship を見て興奮。だってこの船は映画の海賊船のモデルになった船だから。ペリカンもすごく間近で見られた。昼食は彼と一緒に蟹と海老のサンドウィッチを食べた。ここ Florida では異様に海老を使った料理が多い。Judy のお祖父さんは科学者でなんと京都賞をもらい、日本の天皇陛下にもあったことがあるようだ。ちなみに京都賞というのは、ノーベル賞にも匹敵するほどの偉大な賞らしい。だから、Judy のお父さんも付き添いで日本に来たことがあるらしく、「おはようございます」を知っていた。日本や中国の話もできて有意義な時間だった。

14時30分 家に帰って Greg と Sunken Gardens に行った。蝶とか植物を観賞できるところで、南米の植物はもちろん、なぜか日本庭園もあった。松や鹿威し、錦鯉など。日本独特の文化はこんなに遠い Florida にまで影響を及ぼしているのかと思うと、日本人として誇りに思った。いつもは蝶がいっぱいいるそうだが、数匹しか見られなかった。アリゲーターといい、イルカといい、私ってどうしてこんなにタイミングが悪いんだろう。色鮮やかなインコもいて、この鳥は Florida を代表する鳥らしい。それにしてもトカゲが多く、至る所に出没する。

それからスイカシャーベットにチョコをトッピングして食べた。おいしかったけど口の周りが真っ赤。でもこの時は気付かず、後になって恥ずかしい思いをしたけどね…。Greg とドライブした後、Pier に足を運んだ。Pier は St. Petersburg の一番のシンボルって言っても過言ではないと思う。5Fの展望台から Tampa Bay を眺めた。天気すごくいい日でイルカに初にお目にかかった。こんにちがあ！2Fの水族館では Greg が魚の説明してくれた。カクレクマノミのニモもいた。なんでこんなに Greg は生き物について詳しいんだろう。SUNKEN GARDEN や Sawgrass Lake Park の時も本当に詳しく話してくれた。十分 Pier を満喫して駐車場へ。ホントに遠すぎでしょ〜！結構歩いた。

17時 Zachary と Sierra のお世話。2人ともすごく元気で遊び相手になるのは楽しかった。私も身近にこれぐらいの年の子がいたらなあ。またまた Greg が写真を見せてくれた。私も家族の写真を見せて説明した。うまく競技かるたの説明が出来なかったけれど、真剣に聞いてくれて嬉しかった。

19時 みんなで初の家でのご飯。今日はお寿司。食料品店で買ったものだけど、日本の寿司とはかけ離れたものだった。酢の量が明らかに多い。Judy がポテトとチキンとグリーンピースを使った料理を作ってくれた。おいしかった。Zachary と Sierra はお風呂の時間。Zachary は犬の、Sierra は猫のバスタオルに包まわっていてとてもかわいかった。私には猫じゃなくて豚に見えたけどね。沢山人から豚に見えるという苦情があってその会社はデザインを変えたいらしい。夕食の片付けを申し出たけ



ど断られた。食器洗い機がしてくれるからって。残飯を自動でカットしていく機械もあって…ハイテクだね。

19時30分 Judy と Greg と一緒に平穏な時間を過ごした。日本では20歳から認められている権利のうち、アメリカでは飲酒が21歳、それ以外は18歳で認められるらしい。自動車免許は16歳から。私と同年代の人が運転しているなんて考えられない。今年は Olympic Year! 2人とも Olympic をすごく楽しみにしている (特に Greg)。8時からは American football をテレビで観戦。どの選手も大きい。一番小さい人で185cm とか…。Judy が明日から1週間の私の日程を話してくれた。明日から大変そう。金平糖とアイスを食べた。だんだん寒くなってきたから毛布を借りた。暖かい。気が付いたら寝ていた。げっ!! 23時23分! いつから寝ていたんだろう。しかもソファの上で…Judy も Greg も気を遣ってもうリビングにいない。でもソファで寝られるほど、この家で自分が自然体でいられるんだなあってしみじみ実感。これも Owen Family のおかげかな。

8月4日 (月)

6時40分。Zachary と Sierra が部屋にやってきた。おはよう。

7時15分 Judy が昼食用にサンドウィッチを作ってくれ、朝食にはシリアルを食べた。そして、彼女の職場を見学するために一緒に家を出発。コンピューター関係の仕事をしていて、同フロアの人に私を紹介してくれた。メインコンピューター室も見学しパソコンの多さに驚いた。配線が多く床は高くなっている。見学を終えて後は、Art Center に行く時間が来るまでゆっくり。



8時45分 Judy と歩いて Art Center に到着。私が手伝う教室は3F。9時~11時45分、12時15分~13時30分、13時45分~15時。1日に3クラス教えるようだ。短い休憩

時間の中で片付けと準備をしなくてはならないので結構忙しい。今日は、日本の経典のようなメモ帳を作った。表に筆を使って題名を書く。それを教えるのが私の初仕事。文字は私が勝手に決めて「幸」と書くことにして、まずお手本を作った。子供達の前では2種類の「空」を書いて、書道は芸術だから、綺麗さに凝り固まらなくてもいいことを教えた。中には、すごく字の上手な子もいてびっくり。書道に興味のある子は他の文字も聞いてきた。「through, a, the」を聞かれたけど、それらは日本語にはないので困った。不思議な子もいるなあ。他にも犬とか猫とかも聞かれた。私と同じ年の女の子 (アリソン) もボランティアで来ていて一緒に仕事をした。何人かは私に積極的に話しかけてきてくれて、日本のこと以外についても話がはずんで楽しかった。私のために席まで用意してくれた。みんなにペコちゃんのキャンディーを渡したら大喜び。最初は不安だったけれど、帰る頃には明日が待ち遠しかった。



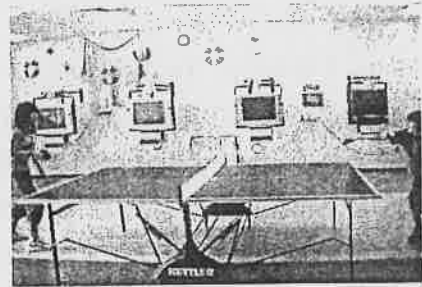
14時30分 Art Center に Ms. Shuder、Joshua、太田君が私を迎えに来た。Ms. Shuder は太田君の1週目の Host Family のお母さん、Joshua は彼女の息子で12歳。バスケをしているんだって。久しぶりの日本語…工場見学に連れて行ってもらった。車から降りる時、ドアの開け方が分からなくて Joshua に教えてもらった (笑)。50分間説明を聞いたけれど、私の英語力不足であまり理解出来

なかったが、海水を浄化するシステムを研究しているようだ。次は Bay Walk へ。あまりに暑くて飲み物を飲んだ。でもここより高松の方が気温は高いし、蒸し暑い。木陰は St. Petersburg の方が涼しいくらい。Mr. Shuder の働いている消防署へも足を運んだ。署内を案内してくれたし、消防車にも乗ることが出来た。クラクションも鳴らしてみた。予想以上に大きな音でドッキリ。消防士の帽子も被った。重い〜。Joshua はすごく慣れた様子で消防車のドアの開け閉めをしてくれた。消防署から Owen 家へ送ってもらう時、Joshua に紙風船とキャンディを渡すととても喜んでくれて嬉しかった。



Owen 家に着いてもまだ誰も仕事から帰ってきてなかったので、しばらくそのままドライブ。この時、Joshua が卓球できる場所を見つけてくれて…彼は卓球ができるんだって。

18時〜19時 4人で卓球をした。Joshua のサーブはすごく速くてなかなか打ち返せない。みんなすごく真剣モード。私も中学校の部活以来の久しぶりの卓球。言葉では言い表せられないほど楽しかった。スポーツはたとえ言葉がうまく通じなくても表情とか声のトーンなどで相手の気持ちが手に取るように分かる。何回も日本語で「やったあ！」とか「おいしいっ！」って言った。英語でどのように言えばよいか分からなかったから。でもだからと言ってノーリアクションなのは良くないと思った。自分のことをもっと伝えたい。心からそう思った。この卓球の後、4人の繋がりは強くなったように感じた。スポーツっていいな。



19時 Shuder Family が Owen 家に来て一緒に夕食を食べた。Greg がチキンを焼いて他の料理を Judy が作って…みんなとの夕食はいつも以上においしかった。日本ではあんまりこういう機会がない。だから私にとってすごく新鮮な時間だった。

20時 Judy と Greg と静かに過ごした。このゆったりと流れる時間、このやわらかな空間が大好き。スポーツ番組を見た。アメリカ版サスケかな。でもこの番組の方がスケールは大きいけどね。この人たち本当に人間ですかって言うくらい筋肉もりもり。凄まじいなあ。折り紙の折り方も伝授。でも日本人の殆どは鶴しか折れないと思うんだけどね。私もその例外ではない。辛うじて風船も作れた。良かったあ。2人とも折り紙はとて難しいって言っていた。同感。それから高松市のホームページも見た。高松のアーケードは2.5 kmで日本一長いらしい。知らなかった。America で高松のことを勉強するなんてちょっと妙な感じ…。Greg が大笑い。「君は高松のことを勉強するためにここへ来たのかい？」だって(笑)。

8月5日(火)

7時15分 起床。洗濯機と乾燥機を借りて初の洗濯。洗剤のいい香り。Zachary と Sierra が入ってこようとしたけど、いつもより遅く起きて準備がまだ出来ていなかったから断った。ごめんね。今日も Judy がランチ作ってくれた。家の鍵も渡された。責任重大。私が一番最後にこの家を出るからね。

8時30分 Ms. Wykell が迎えに来て Art Center まで送ってくれた。高松市からの彼女へのお土産を渡したけれど、預かっていたホームステイ代を渡すのを忘れて…ごめんなさい。

Art Center に到着。今日は特に書道を披露することもなく、平穏な一日。どのクラスの子も漢字を知りたいようでいっぱい質問された。殆どの子が決まって聞くのは「母」と「父」。America に来て感

じたことだけれど、日本よりも家族の繋がりが深い。子供が親を嫌がらない。すごく素敵だと思う。初めのクラスでは一人の女の子と30分くらい話した。Americaでは英語はもちろんだが、スペイン語を学ばらしい。「学校は楽しい？」って聞いたら「時と場合によりけり」だって。やっぱり国が違っても子供達の考え方は同じなんだなあ。私の書いている日記に興味津々。かなり話が弾んでいたら、先生に彼女が注意されてしまった。私も注意されるべきなのにね。ちょっと罪悪感。途中お菓子を売店に買いに行く時間があつたので私も飲み物買いに…でも自動販売機の買い方が分からない。日本ではだいたい120円だから、ここでも2ドル入れなきゃいけないんだと思って、2枚目のお札を入れようとしたけど、入らない。どうしよう(汗)。困つたので近くにいた9歳の男の子に買い方を聞いた。快く教えてくれたけど、17歳が9歳の子にジュースの買い方教えてもらうなんて…情けない。最後のクラスでは女の子7人と30分間話した。とは言っても、正確には7人が一斉に話しかけてきて延々とまくし立てていたんだけどね。もちろん速すぎて何を言っているのか意味不明なので微笑だけ。聞き取れたのは5%くらいかな。みんな日本人が犬を食べると思っていたので驚いた。犬なんか食べないよ〜。「じゃあ猫は？」とも聞かれた。おまけに中国語と日本語の違いがさっぱり分からないらしい…まあ私もフランス語とドイツ語の違いは分からないけど。

15時10分 Gregが迎えに来てくれた。今日Art Centerであったことを報告。その後はソファでごろり。

17時までにはTropicana球場へ行くために出発。岩村選手に会える予定。途中で大雨と雷。悲惨な天候。入り口はGATE4って決められていて、まず探すのに一苦勞。サイン用のボールを持っていなかったから買いにdash! 開店時間にまだなくてお店に入れません。セキュリティが厳重で……Gregがなんとか交渉してボールを買わせてもらえたけれど、もう時間ギリギリ! 急げ! ようやく元の場所に戻ってミーティング用の名札をゲット。ちょうど太田君たちも着いた頃だった。セーフ。私もGregもくたくた。それから係りの人に案内されてグラウンドへ。足を一步踏み入れた途端、感動。私、今、majorのグラウンド踏んでいるんだ。どんなに野球少年が願っても叶わないかもしれないこと。貴重な体験を大切にしよう。選手の練習をじっくり観察。もっと野球に関する知識があれば良かったのに…って少し後悔。

17時35分、あの岩村選手に会った。「高松から来たん? ほんま? 遠いな。楽しんでな!」って…方言を愛好された。記念撮影もしたし、サインももらえた。すごい体験をしたな。本当は後2つサイン欲しかったけれど、時間切れ。でも、サインももらえただけでも十分。それからお食事タイム。ホットドッグを食べた。実は今日Art Centerで女の子にホットドッグ勧められたんだあ。ちょっと満足。Gregに漢字や平仮名、片仮名の字数を教えてあげたら驚かれた。そんなにあるのって。

19時10分 試合開始。GregがPRETZELを分けてくれた。初めて食べるものだし、おいしかったけれど、塩が効きすぎていて辛い。舌がしばらく麻痺していた(笑)。クーラー強すぎて寒い。なんで野球観戦しながら私は震えているのだろうか? あまりの寒さにタオル地のキティハンカチで腕を覆った。そのハンカチを見てGreg大爆笑。そん



なに笑わなくても…。甲子園やサーパススタジアムでは考えられないね。この試合では HOME RUN が3本！おまけにバット3本が折れた。激しい試合だったけれど、HOME RUN が出る度に観客吼えまくり。もちろんこれらは全て Rays が放ったもの。途中でウェーブも回ってきたりして…本当に興奮して楽しかった。

23時 試合終了。これで Tropicana 球場も見納めかあ。寂しい。Greg がいっぱい写真撮ってくれた。グラウンドに寝転んでみた。ちょっと恥ずかしかったけれど、こんなことよつぼどじゃないと日本では出来ないよね。ウフフ。外に出ると雨が土砂降り。すごっ！傘を持っていなかったからびしょ濡れ。家に着いたらもう0時前。Judy は明日も朝早いので寝ていた。おやすみ。

8月6日(水)



6時 起床。実はこんなに早く起きる必要なかったみたい。Zachary と Sierra が部屋に飛び込んできた。2人も私のパジャマを着て大喜び。飴などを投げる。やめてくれ〜。でもかわいいから許せちゃったりするんだな。みんなが出かけた後は一人のんびりと過ごした。

8時30分 時間になったのにまだ Ms. Wykell が来ない。どうしよう。10分待ってみたけれど現れない。心配になって、家の電話を使わせてもらって Judy に電話。良かったあ、電話番号聞いておいて。そうしたらなんと！Ms. Wykell は家の前で待っているらしい。彼女は2回も呼び鈴を鳴らしたのに私が出てこなくて途方に暮れていたみたい。でも私、呼び鈴なんか聞かなかったよ。ずっとリビングにいてテレビもつけていなかったけれど。なぜだあぁ？本気で彼女に謝って、昨日渡し忘れたホームステイ代を渡した。Ms. Mazzo と明日会えるらしい。日本にいる時、分からないことがあったら何回も彼女にメールを送ったから、お礼がしたくて。車から降りる時に「明日はすぐにドアを開けます」って言ったら Ms. Wykell 笑っていた。

9時 Art Center へ。今日は主にお絵かきがメイン。子供達が使っているティッシュのような紙で、小学校の頃に花を作ったことがあった。先生にそのことを言うと、教えてあげることになった。初めは2人だったけれど、だんだん増えて5人になり、一人2個ずつ作った。何かを教えるってとても楽しいし、嬉しいな。アリサ (Art Center の女の子) が私にメッセージを書いてくれた。

「もし日本語が話せたら、サエコにありがとうと言いたい。Florida に来てくれて Art Camp に来てくれてありがとう。そして私に日本語を教えてくれてありがとう。」最後に「あなたと別れたくないわ。」だって。わお！涙が出るほど嬉しかった。ここに来てホントに良かったな。ニコラス (Art Center の男の子) もすごく日本文化に興味を持っていた。「日本語勉強したい？」って聞いたら「うん。」って答えてくれた。「日本語読んでみて」と頼まれたから読んであげるととても尊敬された。先生と話し合っ、私が半紙に日本の物語を書いて子供達が絵を描くことになった。やっぱりここは桃太郎でしょ。久しぶりの真剣モード。最後のクラスはやっぱりおしゃべりタイム。1日中 Art Center で活動するから、子供達も集中力切れちゃうんだろうな。



15時 Greg のお迎え。家に帰って明日も Art Center に行きたいことを伝えた。初めは Ft. DeSoto

に行こうと思っていたけれど、子供達と仲良くなったら一緒にいたくなっちゃって…。予定表見ていろいろなこと考えていたら Greg に裏返しにされた。日本人ってやっぱりどこかまめまめしいね。20時半の夕日を見に行こうと思って出発したけれど、途中で Judy から電話。Greg は Judy と夕飯を買ってくる約束をしていたことを忘れていて…家に戻った。それから卓球しようと思って卓球場に行きたけれど、生憎まだ使える時間じゃなくて。近くの電気屋を見学。America の携帯を見るのは楽しかった。日本のものと比べて画面が小さく、軽いし、安い。でもどんなにいい携帯でもワンセグ機能はなし。私は日本製品の方が好きだな。テレビや冷蔵庫も品定め。最近は何国が違っても電気製品は殆ど変わらないことを学んだ。デジタルカメラにしても、CANON や SONY など日本の製造会社ばかりなんだけど…思わず笑ってしまった。Greg とカンフーパーダのデモゲームをしてすごく楽しかった。2人も超真剣モード。なかなか次のステージが見つからず、悩みまくり。手当たり次第、壊した。何とか、次の扉を探し出せて嬉しい。KARAOKE のヒットソングの CD とかも見つけた。日本と本当に変わらないなあ。

18時45分 Judy に今まで撮った写真を見せた。すごく真剣に見てくれて、私も撮った甲斐があった。でもなかなかうまく撮れなくて…半分近くがピンボケになってる。撮る時に手ブレしているのかな。それと、ここへ来て初めて知ったことなんだけれど、青い瞳はフラッシュですぐ赤目になる。私のように黒い瞳だと少しのフラッシュでは光らないけれど、青や茶の瞳はよく光る。だからうまく顔写真が撮れない(汗)。大変だあ。

19時45分 Greg と新しいファーストフードの店へ。もう America の食べ物の大きさには慣れたつもりだったけれど、スモールサイズのバーガー頼んだら日本のビッグマックくらいの大きさで…でかっ!! その後、家でポストカードを書いた。小・中学校時代の校長先生4人と自分宛。住所の書き方がいまひとつ分からず、Judy に聞いた。いつ着くのかなって楽しみにしていたら、結局は1週間以上かかったのが私に日本に着いた次の日にやって来た。まあそんなもんだよね。

22時 Greg と一緒にオセロをした。1回目は勝てたけれど、2回目はボロ負け。うまく隅を取れなかった。Judy に私の学校での夏休みの英語の宿題を見せてあげると、すらすら読んでいた。私達にとってはすごく難しく友達もみんな嘆いているのに、Judy も Greg も簡単に…私達の英語力ってこんなもんか。その内容を Judy が声に出していると、Greg が大笑い。「君は一体学校で何を学んでいるんだ?」だって。そんなに可笑しいかな。「親と子の関係のあり方」「人生における男女の人間関係」「教育制度とは何か」などについての文章なんだけど…。眠くてうとうとしていたら「サエコ、寝る時間だよ～」って言われた。かなり子供扱いされている。でもそれが嬉しくて。

8月7日(木)

6時15分 朝から Zachary と Sierra がやって来て大忙し。Sierra は携帯とパジャマで満足しているけれど Zachary はおんぶに抱っこ。朝から戦闘モードだ(笑)。でもやっぱり男の子だなあ。Greg が2人を笑いながら引き取りに来た。Sierra が幼稚園に行く時「Bye Saeko」って言って手を振ってくれた。朝からハッピーな気分。ふふふ。

8時30分 あのお…Ms. Wykell 来ないんだけど…。困って Greg に電話。昨日は Judy にかけたからね。もう日本じゃなくても電話をかけるのも平気になった。2・3分後にかけ直すから電話に出よう、Greg に指示された。でも実際は Ms. Wykell がただ遅れただけで、Greg に余計な手間を取らせてしまい…ごめんなさい。



9時 Art Centerでお仕事。昨日何人かに教えた花作りが今日は大人気。みんなものすごい勢いで作っている。何十個も出来た。この最初のクラスはすごく作業ペースが速い。感心感心。2番目のクラスではニコラスと1時間以上話した。彼の話するときの表情がとてもかわいい。あまりにも百面相で。リアクションも面白いし…大好き。銃を使ってハンティングする話とか、友達の話とか、その他もろもろ。日本料理のことにも触れた。彼はタコが好きらしい。私がしょっちゅう聞き取れなくて聞き返しても、ニコラスは丁寧に易しい英語でゆっくり言い直してくれる。ありがとう。本当にいい子だなあ。でもまたここで自分の英語力不足を痛感。今度また彼に会う時はもっと理解できるようになっていたらいいなあ。帰りに日本の紙風船渡したら喜んでくれた。最後のクラスでもみんな(特に女の子)



は花作りに夢中。今日で私の Art Center でのお仕事は終了なので、写真を撮った。アリソンともね。先生にちゃんと名刺を渡すと、「サエコ、本当にありがとう。あなたのおかげで子供達とても楽しんでたわ。」って言うてくれた。別れ際には子供達がいっぱいハグしてくれた。私の周りに10人弱くらいかな。迎えに来てくれた Judy が「子供達はあなたのことがすごく好きなのね。」って。帰りたくなるほど嬉しく、また心も温かくなった。Art Center に来て本当に良かった。心から思うことのできる、素晴らしい4日間だった。

15時30分 家に帰ってから昨日書いたポストカードを投函するために郵便局に行ったけれど、とても混んでいて諦めた。スーパーに行って今夜の Host Family 夕食持ち寄りのパーティーの準備。お店でオーダーしようと思ったけれど、ヒスパニックばかりで英語が通じず、Judy 困り顔。郵便局でポストカードを出した。そこにいた人は「ありがとう」とか「こんにちは」を知っていたので私は感激&びつ



くり。その後、Judy と一緒にネイルスパへ。マニキュアしてもらったあ。まず最初に色を選んで後はおまかせ。爪の甘皮の処理やマッサージ。日本ではすごく高いからネイルスパに行ったことがなかったから初体験。気持ち良かったし、ちょっぴり嬉しかった。17歳って言ったら「お子ちゃまだね」って。そりゃ日本人はアメリカ人に比べて童顔…!? Judy はペディキュア。爪がすごく綺麗になったけれど、すぐに左手親指剥げちゃった。ショック! そして Zachary と Sierra を幼稚園に迎えに行った。そこは私の中にある幼稚園のイメージとはかけ離れたものだった。建物内には多くの観葉植物と教室。全ての部屋にドアがあって、水道もある。2人は外の遊具で遊んでいた。Sierra が私にお花を2本くれた。ありがと。Zachary はブランコで遊んでいた。他にも沢山子供達がいてみんなかわいい。帰りの車の中で Sierra は「Why?」を連発。その度に Judy が返答している。日本の子供と一緒にだなあ。小さい子は理由を知りたがるよね。キャンディーを私に見せてくれた。車から降りる時、Zachary はチャイルドシートを外すのに私をご指名! 信用されている感じがしてとても嬉しかった。

17時30分 Zachary が私の部屋のクローゼットに入って出てこない。相手して欲しいのかな。かわいい。Zachary と私で遊んでいるのを見て Greg が嬉しそうだった。でも Zachary は本当に日本語がよく分かる。注意をするのに日本語を使ってしまうことが度々あったが、彼はそれをきちんと理

解している。すごっ！

18時 Judy、Greg とプールへ。Host Family 持ち寄りのパーティー。プールに着くと市の人はもう来ていた。Ms. Mazzo にプレゼントを渡した後、夕食。とてもおいしかった。でも屋外だから蠅が数え切れないほど集まってきて…蠅撃退にみんな一苦勞。変な光景。パーティーには日本語の出来る人が2人来ていた。日本語が出来るというのを聞いて「そうなんですか〜。」って言うと「そうなんですよ〜」って答えが返ってきた。びっくりするとともに久しぶりの日本語。2人は日本に6年間住んでいて教師として務めていたとのこと。1人は名古屋で、もう1人は高松で。高松にいた人とはいろいろな話をした。去年何年かぶりに高松に行って、その変容ぶりに驚いたようだ。特に商店街。以前のような活気はなく、彼の記憶の中にある中心地とはまったく変わっていたという。私もその意見には大賛成。高松高校の話や日本の食文化にも触れた。私が大きいクッキーのようなものを持って余していると、その日本語のできる2人が「無理に食べなくていいよ。それは日本人には無理だよ」って言ってくれた。すごく日本人のことわかっているなあ。流石！感動！実は甘くて食べられなかったんだよね。その後ゾーイと一緒に泳いだ。彼女は去年高松に親善研修生として来た17歳の女の子。同い年だから親近感が沸いた。この6月で高校を卒業し、9月からは大学生。少し日本語も話せた。ゾーイは日本語で話し、私は英語で話す…奇妙なシチュエーションが続く。まあお互いにいい言語練習になったと思う。そこへ Greg がやってきて写真を撮ってくれた。「飛び込み台に行きなさい」と Greg に言われたので素直に従ったけれど、怖い。足絶対着かないじゃん。コンタクトの心配をしながらもやけくそで飛び込んだ。なんとかうまくいった。私の飛び込む瞬間を撮ってくれた。流石 Greg! McLean 家、Wells 家にも挨拶。明日 Wells 家に移ることになっている。ウォータースライダーも楽しかった。Greg 曰く、明日の Adventure Island はこれの5倍くらいの高さのウォータースライダーが沢山あるらしい。豚のタオルを被っていたら Greg 大笑い。そんなに笑わなくても。市の職員の人が携帯とカメラを充電して返してくれた。本当に感謝した。実は、持ってきていた変圧器がうまく使えなかったのだ。変圧器は America にきちんと対応していたけれど、肝心の日本の電気製品がその変圧器に繋げない。これってまさかの事態だよ。だから今朝 Ms. Wykell に頼んで充電お願いしたんだ。帰宅してシャワーを浴びると Greg はもう寝ていた。Judy とテレビを見ているといつの間にかまた寝てしまっていた。だって America のテレビ面白くないから。何言っているのかさっぱり理解できなくて。トホホ…

8月8日 (金)

8時 今日は12時に Kanyon (太田君の2週目の Host Family) が迎えに来てくれるから朝はゆっくり寝ることができた。久しぶりにぐっすり。幸せ。でも起きたらみんなもう出かけていて家の中は私1人。テレビを点けて荷物の整理やバスルームの掃除をしていたらあっという間に10時45分になっている。今日は Owen 家での最後の日だからね。これがまたなかなかスーツケースが閉まらない。必死！一段落して日記を静かに書いた。



12時15分 Kanyon が迎えに来てくれた。Kanyon、Dakota (Kanyon の弟)、ジュリー、デヴィン、太田君と一緒に Adventure Island へ。もちろん運転は Kanyon 担当。18歳で私と1歳しか変わらないのに運転慣れしていることに違和感。America では16歳から免許を取得できることは知っているが、それでも変な感じがする。

13時 Adventure Island に到着。荷物を預けるロッカーが空いてないほど沢山の人が。Kanyon が8ドル払って2つロッカーを貸してもらってみんなで詰め込む。流石にきついなあ。バスタオルや着替え、貴重品などいっぱい。こんなにパンパンなロッカーは今まで見たことがなかった。私はランチを持ってきたつもりだったけれど、いざケースを開けてみると中は空っぽ。あっ！そっかあ。Judy は私に昼食が必要なことを知らなかったんだな。私ははてっきり知っていると思っていた。確認しなかった私のミス。ごめんなさい。それからは大冒険。RIPTIDE、WAHOO RUN、SPLASH ATTACK、ENDLESS SURF などいろいろなウォータースライダーで遊んだ。Dakota が効率よくパーク内を先導してくれたので6時間弱で殆ど網羅することが出来た。ありがとう。でもコンタクトレンズを付けたままだったから大変。顔が水に浸かる瞬間に目を瞑らないといけないから、どんな時も前の視界にだけ集中。だから周りの景色を見る余裕がなくて残念。ウォータースライダーが怖いというより、コンタクトが流される方が怖い(笑)。目が悪いって損だなあ。他にも岩からの飛び込みや綱伝いなどとても楽しかった。また来たいな。帰りに Kanyon がアイスを分けてくれた。高いんだって。アイスの名前を聞いたのに忘れてしまった。後悔。でもお腹が空いていたのでおいしかった。

18時45分 Owen 家到着。Judy、Zachary、Sierra が出迎えてくれた。荷物が重くて…Kanyon と Judy が運んでくれた。Zachary にバイバイして Sierra にペコちゃんのキャンディーを渡した。喜んでくれて嬉しいな。そこへ Greg が帰ってきた。Greg が岩村選手のサインを譲ってくれた時、みんなと別れたくなくて号泣。Judy も Greg も戸惑っていて。Owen 家を困らしてしまっでごめんなさい。笑顔でお別れするつもりだったのに。2人がハグしてくれた時の温かさを私は絶対忘れない。本当にありがとう。Judy、Greg、Zachary、Sierra 大好き。

McLean 家(太田君の2週目の Host Family)に寄った。Kanyon が私を2番目の Host Family の家に運んでくれるみたい。家には猫と蛇がいた。すごっ！

20時 Wells 家へ。室内犬が3匹いる。50kgを超えるフォーゴス、25kg強のナーラ、小型犬のチャンゴ。3匹ともすごく躡けられているけれど、チャンゴは時々ちょっと吼える。Kim (Host Family のお母さん)、Jeff (Host Family のお父さん)、Angela、Martin、Malcolm と一緒に夕食。私が着くまで待っていてくれた。食べる前に感謝の気持ちを表す動作をする。「いただきます」の長い番かな。Kim の手作り料理はとても美味しく大好きになった。食べながら質問攻めにあつた。日本のことについて。よく、日本人は日本のことについてあまり知らないって言われるけれど正にその通り。いくつか答えられない質問もあった。その後、Olympic の開会式を見た。ちょうど日本選手が入場する場面だった。開会式の初めは見られなかったけれど、各国の入場はばっちり。中国気合入っているな。

23時過ぎには自分の部屋へ。疲れていたから早目の就寝。なんとウォーターベッドではありませんか！？ 私は大興奮。お初にお目にかかります。いざ寝てみるといい感じ。体が浮遊していて今日の Adventure Island を思い出した。おやすみ。

8月9日(土)

9時 起床！げっ！こんな時間！びっくり。よく寝たなあ。その後朝食。Jeff がシリアルとバナナをくれた。Malcolm と Kim も一緒に食べた。新聞の漫画を見せてくれたけれど、読む順番すら分からない。トップはもちろん昨日の Olympic 開会式。そしてお土産披露タイム！すごく真剣に聞いてくれて嬉しかった。でも七福神の説明が出来ず…誰が誰なのか分からなかったからもう少し勉強しておけば良かったと後悔。こけしや高松の風景にとっても興味を持っていた。漢字、片仮名、平仮名の説

明をして、日本語にはアクセントがないことを言うと驚いていた。そりゃそうだよね。もし英語にアクセントがなければ、みんな話せないよね。Malcolm がポケモンのカードを持っていて見せてくれた。彼も幼い頃好きだったらしい。アニメは国を超えても同じだと思っていた私は、この時ショックを受けた。ポケモンカードを見ているとなんと名前が日本と違うではありませんか。辛うじてピカチュウは一緒だけれど、ゼニガメやキレイハナとかは全く違う。まあ日本語を元にして作られた名前だから変わるのも当たり前か。アメリカのポケモン製作者も名前考えるのは大変だっただろうな。それから Kim が English Calligraphy の本をくれ、開けてみて感動。日本人の持っている書道のイメージとは全く異なっている。Alphabet がまるで踊っているよう。読んでいて大変楽しいものだった。



12時 Native American のフルート演奏を聴きに WEEDON ISLAND へ出かけた。私と Kim と Jeff と Malcolm で。車の中でもいろいろなことを質問された。日本の記念日の説明とか。もう必死。日本語でさえどう説明したらよいか分からないのに、しかも英語で…文法とか気にせず、知っている単語並べただけの説明になってしまった。ごめんなさい。次の機会ではちゃんと勉強しておきます。WEEDON ISLAND に着いた頃、空は雨模様。アメリカ原住民の使うフルートの演奏を聴いた。とても綺麗な音色に聴

衆はうっとり。二刀流での演奏にも感動した。また、公園内の生物の説明や海水の浄化装置についての展示室も見学。Kim が丁寧に説明してくれたおかげでよく理解できた。アメリカ原住民は 7000～9000 年前に初めて歴史に登場する。歴史が大好きな私にとって彼らの生活様式を学べたのは本当に良かった。

15時 帰宅。ちょっと遅めの昼食。それまでは Malcolm と一緒に Olympic 観戦。あんまり日本の選手映らないなあ。昼食はサンドウィッチ。手作りで美味しかった。続いて Angela、Martin、Malcolm と共にショッピング。家から近い所に大きなショッピングモールがあって便利だな。私が Florida のお土産が欲しいと言ったのでビーチに行くことに。そこは Florida 一色。友達や家族のお土産を沢山買って大満足。私の財布が異様に重いことに気付いた。硬貨の種類を把握してないからいつも紙幣ばかり使っていたせいで、硬貨が大量にあるのだ。Angela と Malcolm が私の財布からコインを代わりに探して出してくれた。どうもありがとう。

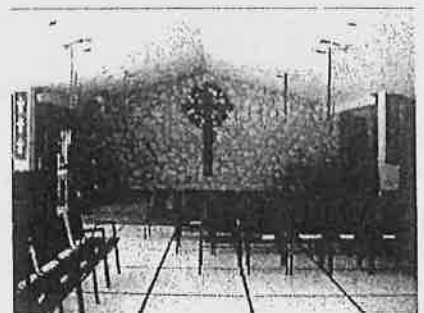
19時 帰宅。買ったものをスーツケースに入れるのが大変。壊れやすいお土産も幾つかあったので慎重に。その後みんなで Olympic 観戦。Japan vs America のビーチバレーも見た。まあ、日本負けたけど。日本男子体操や北島康介も映った。せつかくの Olympic なのに America の選手しか見られない。

22時 夕食。やっぱり Kim の手作りだった。私の好きな夕張メロンがあって、嬉しかった。それから、また Olympic を見て寝た。寝ながら気付いたことだけど、Florida には山がない。

8月10日(日)

8時半起床。

10時 教会に向けて Jeff と Malcolm と出発。Kim の教会まで 15 km。30～40 人の教会で素敵な所だった。Kim は正装してみんなの



前でトーキング。教会に来た人々は真剣に彼女の話に耳を傾けていた。教会だから、いろいろな歌を歌ったけれど日本語じゃないので意味が理解できない。でもこういう宗教行事には今まで参加したことが殆どなかったので新鮮に感じた。途中で Kim がみんなの前で私を紹介してくれた。拍手もしてくれた。終わってから沢山のひとと話し、中には東京に来たことがある人や日本人留学生の受け入れをしている人もいた。

12時 Kim のお母さんの所へ Jeff とテレビを届けに行った。とてもかわいいおばあちゃんに優しかった。Jeff が設置したけれど、リモコンが作動しない。困っていたら、なんと電池が入っていなかった。初歩的なミス。帰りに彼女に日本の紙風船を渡したら、喜んでくれた。帰りの車の中で Jeff がいろいろなことを話してくれた。日米戦争、奴隷制度、人種差別、貧富の差などなど・・・。St. Petersburg は100年位しか歴史がなく、日本の歴史の長さには驚いていた。



14時 昼食のあと Malcolm といっしょに卓球！なんと裏庭にプールと卓球台がある。

30分間試合をして暑かったけれど楽しかった。アメリカ人ってみんな卓球ができるのかなあ。

15時 Kim といっしょに食料品店へ。

19時 Kim、Jeff、Malcolm といっしょに TREASURE ISLAND に行った。日曜日はドラムの演奏会があつて私たちも参戦。ドラムっていっても太鼓を叩くだけだね。で、みんながそれに合わせて踊る。日本ではまず見られない光景だから、とても興奮した。Malcolm と海岸を45分くらい歩いた。私が明日行くことになっている BUSCH GARDENS の話などもした。彼にお勧めのジェットコースターもぼつちり聞いた。浜辺にいた生き物の説明や、海がめの産卵スポットを教えてくれた。夕日が想像以上に綺麗で感激した。水面に夕日が反射してどこまでも続くように見える光景は筆舌に尽くしがたい。



21時 またまた Olympic を満喫。北島康介が金メダルを取った。

8月11日(月)

8時 起床。Kim が長男の描いた絵画を見せてくれた。彼は芸術家を目指していて今は St. Petersburg にはいないので私は彼の部屋を使わせてもらっている。テレビ画面に映っている自分の絵や自分の部屋をモチーフにした絵などバリエーション豊富で面白かった。その後は朝食。Kim がブルーベリーパンケーキを作ってくれ、ほっぺたが溶けそうなほど美味しかった。

昨日の Olympic でかかった君が代のメロディーを褒めていたので私は歌詞付きで歌ってあげた。下手だったけれどちょっと満足。2人で SCRABBLE もした。これは昔からあるゲームで、言葉をつなげていくもの。英語でのゲームだからもちろん辞書を使用。それでも Kim に負けた。自分の語彙力の無さを改めて感じさせられたけれど楽しかった。

10時45分 Kanyon が迎えに来て、Dakota と太田君も一緒に Busch Gardens へ。着くとまずトロッコバスのようなもので入場ゲートに向かう。Africa をモチーフにしているパーク内はそれぞれ国名で分けられている。



- ① Myombe Reserve←ゴリラの赤ちゃんや巨大アリゲーターを見た。かわいい。
- ② Kumba←Skyride で移動。眼下にはサイやカバなど沢山の動物がいた。
- ③ Tidal Wave←本当に水飛沫がすごい。頭から爪先までびしょり。水着を着ていて良かった。近くの橋まで水飛沫がすごい。
- ④ Zambia Smokehouse←昼食
- ⑤ KaTonga←Africa を舞台にしたミュージカルで素晴らしかった。沢山の動物や虫まで出演。すごく綺麗で感動した。終了後、劇団の人と写真撮影も。
- ⑥ Clydesdale Hamlet←足の毛がルーズソックスみたいになっている馬に触った。とても力が強いらしい。毛並みも美しくて人馴れしていた。全部で5頭くらいいた。
- ⑦ Montu←足が宙に浮いている状態のジェットコースターでそこまで迫力はなかったけれど、勢いがあり過ぎて頭を打った。ここは Egypt の敷地内。古代 Egypt の建造物を真似て作られていて壮大だったし、興奮した。カルナック神殿やルクソール神殿みたい。
- ⑧ Bird Gardens←Kanyon は鳥が大好きみたいですごく嬉しそう。
- ⑨ SheiKra←Dakota と一緒に乗った。このジェットコースターが一番好きかも。なんとほぼ90度に落下するし、おまけに落下直前に止まるので、迫力・スリル共に満点。
- ⑩ Congo River Rapids←人気のアトラクションらしい。座る場所によってびしょ濡れになる人も全く濡れない人もいるみたい。水着を着て準備万全の人は濡れず、水着を着ていない私達はびしょり。不公平だあ。
- ⑪ Phoenix←Dakota とチャレンジ。日本にもある海賊船のようなアトラクションだけれど、逆さ状態で静止するなど、とにかく揺れが大きい。楽しかった。
- ⑫ Scorpion←そこまで大きくないけれど速くて頭を打った。



途中でレモネードのシャーベットやフルーツポンチを食べた。1日中歩いてたいへんだったけれど、Kanyon や Dakota が親切に先導してくれて充実した素敵な1日だった。

21時 みんなで帰りに Steak n Shake で夕食。Kanyon のお気に入りのお店らしい。シェイクを頼んで飲んだけど甘くて飲めなかった。次の機会にはぜひ！日本とアメリカの学校の違いについて話が弾んだ。日本の高校では休み時間に男子と女子が分かれて過ごしているけれど、アメリカでは考えられないと聞いてびっくり！

家に着いたらもう22時。みんなで Olympic を見て寝た。

8月12日(火)

8時 起床。朝食は Kim が Grits を作ってくれた。これは America 南部に昔からある食事のようだ。見た目はお粥だけど、お米ではなくて違う穀物で、自分で好きなものをトッピングする。おいしかった。今日は市長に会うので朝から制服。

10時 太田君が来て、私達を Kim が Museum of History に送ってくれた。そこでシンシラさんに会った。彼女は市の職員で、中を案内してくれた。歴代のメジャー選手のユニフォームや1900年代前半の水着、Diana 元王妃のドレスなどを見ることができた。特に Diana 元王妃のドレスは2000万



円を超えるものもあって目を疑った。Tampa Bay を最初に飛行機で渡った人の模型もあって、St. Petersburg の歴史を深く学ぶことができた。

1 1時半 ピンク色のランドマークホテルにて昼食。このホテルの歴史は古く、第2次世界大戦中はホテルの前の公園が兵士たちのキャンプ地になっていたようだ。その分、ホテル内には歴史を記してある写真や文章、食器がいっぱい。メジャーリーグの選手が St. Petersburg に来る時はいつもここに泊まるらしい。松坂選手も来たことあるんだなあ。

1 3時 Dali museum でのぶこさんの説明の元、Dali の作品を鑑賞。Malcolm、Kim、Kanyon、Dakota、Joshua、Mr. McLean、Ms. Shuder も一緒。Dali の作品は一見よく理解できないけれど、説明を聞くごとに素人には思いもつかないような意味が込められていることが判明する。殆どの作品は二重三重構造になっていて、見方を変えれば、全く違う作品になっていたことは大変興味深く、感動した。Dali はスペイン人で父、兄とも同じ名前。幼くして亡くなった兄の幻影がいつも彼を苦しめた。両親は常に兄と自分を比較し、彼は「一体自分は何者なんだ？」という自己分析を始める。それが絵画に著しく表れている。父とも妹とも仲が悪く、妻だけが支えだったという。戦時中は世の中自体に疑問を持つと共に、自分が今まで信じてきたものがいとも簡単に崩れていく様に失望する。だからこの時代の作品は全体的に暗い。Dali にとって絵画とは自分の思いや感情を表現する唯一の方法だったのであろう。彼の素晴らしい作品を目にすることが出来て本当に幸せだった。しかし、残念ながら時間が限られており、全ての作品の説明を聞くことは出来なかった。その後、Kim と一緒に Dali が描いた女性の作品ばかりを展示している部屋へ。ここには大きな作品は無く、大部分が鉛筆で描かれていたが、それでも私は魅せられた。「ミロのヴィーナスは芸術家の憧れ」とはよく言われるが、まさにその通り。ヴィーナスに基づいた作品の多さに私はただただ驚くばかりだ。

1 4時半 シンシラと日本語の出来る男性とジェラートを食べた。彼は日本に今住んでいる大学生。2年間日本語を勉強したらしく、ペラペラだった。私も2年間努力したら英語を話せるようになるのかな。ジェラートは3種類の味まで注文可能でとても美味しい。そして市長表敬の挨拶文書を読む練習。もう必死の形相。日本語なのに格式ばった文書だから読めない。トホホ…



1 6時 いよいよ市長表敬。と、その前にテレビのインタビュー。いきなりマイク向けられてうまく対応出来なかった気がする。Shuder Family と McLean Family が同席。Kanyon も昨年の親善研修生ということでインタビューされていたが、流石！ すらすら堂々と答えている。もし日本語で良かったらもう少しましなことを言えたかもしれない（泣）。市長さんとは2度目の対面。高松で7月4日にお会いしたから。いろいろ聞かれたけれど、聞き取れなくて聞き返してしまった。ごめんなさい。周りの人もジョークを言っていたけれど、それも理解できない。Host Family のみんなは私の英語力を知っているからゆっくり、語と語の間を

区切って話してくれるけれど、この場ではそうもいかない。私が困った表情をしていたら市長さんが「大丈夫だよ。君の英語は僕の日本語よりもずっと素晴らしいよ。」って言ってくださった。この言葉を聞いて純粋に嬉しかった。写真撮影の時間もたっぷりあった。バシバシ沢山のカメラに何度も撮られてまるで何かの記者会見みたい。芸能人って毎日こんな感じなのかな。





最後にみんなで “It’s another great day in St. Petersburg” って叫んだ。次に日本語で「これもセントピーターズバーグ市の素晴らしい日です」って言った。市長表敬は初めとても緊張していたけれど、ここにいるみんなが優しくて面白かったから最後は笑顔。表敬中は Kanyon が私のカメラで写真を撮っていてくれた。感謝。

Kanyon と Dakota の高校の前で写真を撮った。1階建てのモダンな感じの校舎で素敵だった。2人の祖母の家にも伺った。そこには沢山の写真が！！ Kanyon と Dakota の幼い頃の写真だけ

ではなく、Ms. McLean の子供時代のものもあった。Owen 家も Wells 家もそうだが、家の中に数多くの写真を飾っている。そういう習慣が強いのかな。Pier までの車の中で、Kanyon が高校の卒業アルバムや友達との写真を見せてくれた。日本の学校とアメリカの学校は大きく異なっている。アメリカの高校では定期的にダンスパーティーが開かれたり、みんなで顔に派手にペイントをしてスポーツチームを応援したり…と、日本では考えられないほど自由で活気に満ちている。うらやましいなあ。

18時 Pier に着いた。今からこの5Fの Cha Cha Coconuts でパーティーがある。エレベーターの中で Malcolm 達と一緒にになった。お店に入ると結構関係者が来ている。市長の娘の Julann にも会った。彼女が高松に来た時も会ったけれど、今回はその時の500倍は話せたと思う。自分の英語を話すことに抵抗を感じなくなっている。自分から積極的に話しかけたり、みんなのジョークに笑ったりと、本当にこの2週間で変わったなあと思った。その時、Greg 登場！ たった5日間くらい会わなかった



だけなのに、すごく懐かしく感じた。Judy も来る予定だったのに急遽会議が入って来られなくなった。会いたかったな。Julann に誘われて外のバルコニーへ。イルカを沢山見て興奮。Mr. McLean が海の彼方に見える Tampa の街を説明してくれた。「日本に帰りたくない」って言ったらいろんな人に笑われた。Malcolm、Greg、Julann、Martin が一緒になって話している。私もその会話に参加して…なぜか分からないけれど、自分の1週目と2週目の Host Family どうしが話しているのを見ると無性に嬉しくなる。人と人との繋がりがどんどん広がっていくような感じがして。「ああこのまま時間が止まればいいのに！」そう心から願えるほど幸せな時間だった。それから夕食の時間。Malcolm が料理の説明をしてくれた。物知りだな。私の両隣は Greg と Julann。Malcolm に「サエコ、横空いてる？」って聞かれたけれど、残念、もう座れない。だから私の斜め前に。Kanyon に「そこ空いてる？」って聞かれたけれどもう Malcolm の横に Angela と Martin が座っていて…。Kim と Greg が話していて時々それに参加させてもらう。2人とも高松のパーティーで私が林檎に噛み付けなかった映像を見たらしい。ショック。「びしょびしょだったね」ってコメントしてくれた。恥ずかしい。そして Greg、Malcolm、Julann、Angela、Martin とまたイルカ探し。その時に教えてもらったことは、7月31日にペリカンの餌やりが法律で禁止になったらしい。当初は私の体験プログラムの中に餌やりが組み込まれていたのに中止になったようだ。残念だなあ。Julann が飲み物を取りに行っている間、子供達について Greg と話した。Zachary はまだ私のことを探し続けてくれている。それを聞いて会いたい衝動に駆られて泣きそうになった。私がいなくて寂しいって言ってくれたので嬉しかった。それから Kanyon と Ms. McLean、Ms. Shuder に私の家族の写真を見せて説明をしてあげた。真剣に見てくれて良かった。Greg と Julann と一緒に双眼鏡で St. Petersburg の町並みをじっくり観察。夜景がすごく綺麗で感動した。楽しい時間はあっという間に過ぎ去り…解散する時間になった。ここで知り合った人 (Jeff と

Judy 以外) はみんなこのパーティーで集まっている。この2週間が私の人生の中で「最高」に匹敵するものとなったのは、ここにいる人々のおかげ。そのことを痛いほど感じる。沢山の人との出会い。でもその分、別れもあることをしみじみ感じた。今ここで別れたらもう会えない人もいるんだなあ。そう思うとまた涙が止まらなくなって…。人間はこんなにも温かい生き物なんだ。私の人生の中でこれほどこの時間、この空間を大切にしたいと思ったことはなかったかもしれない。本当に幸せな時間だった。

21時過ぎ 家に帰って Olympic 観戦。眠たかったのでシャワー浴びずにおやすみ。

8月13日(水)

7時半 起床。まずはシャワーだな。Kim がオートミールで昨日の朝食と同じようなものを作ってくれた。昨日同様美味しかったあ。今日は Angela の仕事か休みの日。



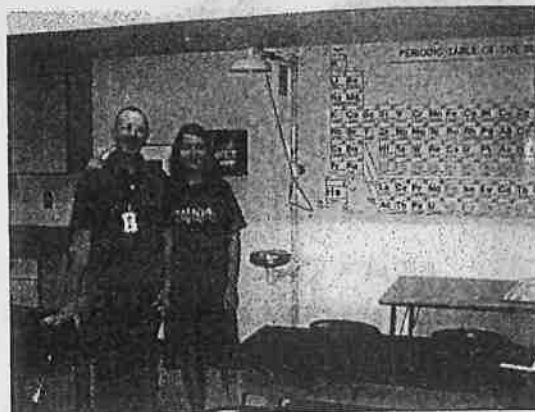
10時 Ruth (英語書道家) に会うため出発! Ruth の仕事場を見て感激。書道用のペンが数え切れないほどある。初めはちょっとした話をした。彼女の英語はすごく聞き取りやすくあまり聞き返さなくても理解できた。とても朗らかな人で話が弾んだ。そして友達に頼まれた結婚式の宛名書きを見せてもらった。その時の感動はとても言い表すことが出来ない! まるでパソコンで印刷したかのような筆跡で、ペンの向きを変えながら魔法みたいに文字を書いていく。私の名前を何種類か違う書体で書いて渡してくれた。一生大切にしようと思う。今彼女はシェイクスピアの

作品を色々な書体で書いているらしく、110枚以上にも及ぶ。気の遠くなるような作業は他にもあった。中国書道にも興味があるらしく、なんと漢字の判子を100個以上作っているのだ! しかもとても上手。字書を真似て作ったらしいが本当にすごい。その後、私が書道を披露した。「幸」「平和」「登山」など…。私の予想以上に喜んでくれた。書道は国を超えて人と人を結びつけてくれるからいいと思う。また、Ruth は筆を使って“Happy Life to Saeko”と書いてくれて心から嬉しかった。

13時半 Kim が迎えに来た。Ruth とまた作品が出来たら送ってくれる約束をした。やったあ。St. Petersburg の地図が欲しかったので本屋に連れて行ってもらった。日本に関する本や日本語で書かれた本、日本の漫画なども沢山あってびっくり。お目当てのものはただでゲットできた。



15時 Jeff の働いている中学校を訪ねた。やはりここも1階建て。敷地面積も広く、のびのびした学校だ。Jeff は理科の教師なので、最初に理科室を見せてくれた。先生1人1人が教室を持っているようで、理科室だけでも何教室もあった。壁には元素記号の周期表が…12歳の Malcolm は元素記号を順番に暗記していた。私なんか今年になって授業でならったのに…すごっ! America でも日本と同じように呪文みたいに



覚えるようだ。生徒の苦勞は変わらないだね。教科書を見せてもらおうと、目を疑った。染色体の分裂の仕方など、私が高1の生物で習った内容がびっしり。ここって中学校だよ。日本と America の教育内容の違いについて、もし機会があれば調べてみたいと思った。他にも校長室をはじめ、音楽室や図書室、体育館などを見て回った。日本の学校と全く違うのは職員の部屋の雰囲気だ。日本ではあまり考えられないことだが、風船を沢山飾ったり、ぬいぐるみを数え切れないほど置いている。写真もいっぱい。厳格な雰囲気のはずの職員室はとてかわいらしく思えた。

帰宅して Angela と「チャーリーとチョコレート工場」の映画を観た。ポップコーンを食べていると、ワンちゃん達が寄ってきて欲しそうに目で追う。かわいい。その後 Kim と食料品店へ。ここでの最後の買い物。夕飯のデザートにアップルパイを選んだ。みんな満足してくれるといいなあ。

17時40分 Angela と Malcolm の小さい頃の Video を見た。たまたまカセット入れたらそれが映し出されて…10年前の映像で、みんな幼くてかわいかった。子供がどのようにして物事を学ぶのかよく分かったし、Zachary と Sierra を思い出した。映像の中の Malcolm とちょうど同じくらいの年だから…。Jeff が家の横に置いてあるヨットを見せてくれた。最近使っていないそうだが、結構スピードが出るらしい。その後は卓球タイム！ Jeff、Malcolm、Martin と真剣勝負。Jeff には負けたけれど、他の2人とはいい勝負が出来た。暑いので汗ばんできてもうくたくた。でも卓球を通して心と心が通い合えたような気がする。何か1つでも出来るスポーツがあれば、ひよんな所で役に立つということをこの旅行を通して学んだ。



それから、Wells Family との最後の夕食。Kim の手作りのスパゲッティとソーセージ。みんなでお箸を使って食べることに…まず持ち方を教えてあげた。お手本となるように努力したつもりだけれど…ソーセージは固くてうまくお箸で切ることは出来なかった。お箸が壊っていたし…。それでも私の真似をして食べてくれたので嬉しかった。でもやはりお箸で食べるのは大変労力を必要とするようで、みんな四苦八苦。いつもの1.5倍の時間がかかったけれど何とか食事終了。いい思い出ができたと思う。食べ終わった頃に Judy 登場。昨日のパーティーに来られなかったからわざわざ別れの挨拶をするため

に来てくれたのだ。久しぶりの再会に心が躍る。みんなが私が選んだデザートを食べた。おいしいって言ってくれたので大満足。そして記念撮影。まずは Wells Family と。そして Judy と。ああ明日帰るという実感がやっとう湧いてきた。嫌だなあ。Kim と Judy が話している間に Angela が Europe 旅行した時の写真を見せてくれた。コロッセウムはもちろんのこと、トレビの泉やラオコーンなど有名な観光名所がいっぱい。これらの写真を理解出来たのは学校で学んだ世界史のおかげかな。勉強していて良かったあ。こんなことを感じる日が来るとは日本での日常生活では夢にも思わなかった。そろそろ Judy が帰る時間。また連絡を取り合うことや写真を送ることなどいくつか約束をして別れた。Judy、本当にありがとう。後は荷物を詰めるという大仕事が残っ



ている。みんなが手伝ってくれたおかげでなんとか奮闘終了。でもものすごく疲れた。それから Martin が日本のアニメについて教えてくれた。彼はジブリ作品が大好きみたい。もののけ姫や千と千尋の神隠しなど、とても会話が盛り上がった。

22時半 Olympic タイム！途中で Jeff と Malcolm とビデオ撮影。ちょっと恥ずかしかったけれど頑張った。小さい頃の Malcolm のビデオのように10年後も残っているかな？私がこの家に来た証を少なくとも1つは残せたと思うと幸せだった。

8月14日(木)

5時 起床。はやっ！昨夜頑張ったのでそれほど荷物と格闘せずすんだ。

6時20分 シリアル朝食。Kim が「W&W (Wells&和田)」と描かれているブレスレットを作って渡してくれた。このアイデアは Malcolm のものだった。昨日は Jeff が Harvard 大学のマグネットをくれたし…Jeff の出身校だから。本当に嬉しい。大切にしよう。

6時50分 出発！ここで Jeff とお別れ。別れ際にすごく私のことを褒めてくれてちょっと照れてしまった。

7時20分 Tampa 空港到着。NW のカウンターで手続きをしようと思ったらなんとチケットの機械が英語で表示されていて…でも問題なし。隅に日本語の表示に変わるボタンがあったから(笑)。日本語って楽だなあと改めて実感。そして荷物の重さを量ると大きい方のスーツケースが 4.5kg オーバーしていたけれど、Kim と Malcolm の協力の元、小さいスーツケースに少し移し変えると難なく問題解決。良かったあと一安心。Malcolm と空港内をぶらぶら。2週間前に初めて私が訪れたターミナルにも足を運んだ。あれから2週間も経ったなんて信じられない。あの時は Host Family の名前や顔を覚えられず、戸惑っていたなあ。でも一緒に過ごした時間は2週間と短かったけれど、今はみんなのことが大好きだし、人と人の絆は時間じゃなく中身だと思った。本当にありがとう。

7時50分 太田君が Kanyon、Dakota、Mr. McLean とやって来た。そしてみんなで搭乗口へ。そこには Ms. Wykell も来てくれていた。Kanyon が写真の入っている CD-R と手紙をくれて、本当に嬉しかった。みんなと何枚も写真を撮ってハグ。ああもうなかなか会えなくなるんだな。最後は笑顔でさよなら。素敵な時間をありがとう。

8時35分 ゲート到着。さっきまでは堪えていたけれど、やっぱり号泣。しばらくして搭乗開始。その時後ろから声をかけられて…「どこから来たの？」それが Emily だった。Tampa に住んでいるらしく、Olympic の話や彼女の旅行の話をした。彼女の学生時代のルームメイトが日本人だったようで、特に日本人を珍しく感じたりはしないらしい。飛行機に乗る時には別れた。

10時 20分遅れの離陸。私の席の隣は親子連れだ。お母さんと女の子。すごくかわいいから話しかけてみた。Sierra と同じ3歳くらいに見えたけれど、実際は1歳半。とても大きな女の子で、時々私の方をちらっと見て、私と目が合ったらにっこり微笑んでくれる。幼い子供ってやっぱりいいなあ。その後は爆睡していて記憶がない。



12時25分 Detroit 空港に着いた。飛行機の離陸が遅れたからその分着陸も遅くなると思っていたが、そんな心配は必要なく、予定通り。ほっ！ 行き当たりばったりのレストランに入ると、またまた Emily に会った。こんな偶然は滅多に起きないことだと思う。これも何かの縁。一緒に昼食をとり、別れ際には写真を撮ってアドレスを交換。自分が海外でこんな簡単に知り合いを作るなんて、2週間前まで



は夢にも思っていなかった。人間はちょっとした期間でもこんなに変わるんだなあと思うと不思議な感じがした。Emily と別れてからは買い物に時間を充てた。海外での最後の買い物で、お金がいくらか余っていたからいろいろな物を買った。それにしても至る所に日本人がいる。Duty Free なんか日本人しかいないし、表示板や放送も日本語が使われている。ここは本当に America だろうかと思わず疑ってしまうほどだ。

15時40分 Detroit 出発。行く時はずっと寝ていたけれど、帰りは日記を書くのに大忙し。しばらく溜まっていたから大変。あまり眠れなかったのはまだ気持ちが昂ぶっていたからかな。St. Petersburg での余韻に浸る。13時間の飛行時間は行きよりずっと短く感じられた。

17時50分（ここからは日本時間）無事関西空港に到着した。やあ日本久しぶりい…って感じかな。予定よりも30分近く早目に着いたので、高松行きのバスに間に合わないかもしれないということはない。もう何があっても安心だ。ちゃんと家族に連絡して、荷物を取った。なかなか私のスーツケースが現れなかったので「ひょっとしたら Detroit に置いてきたんじゃ…」という不安が脳裏を掠めた。無事手にしたときはホッとした。

19時15分 バスに乗って高松へ。何もすることがなかったのでこの2週間を振り返って1人で満足していた。だんだん見慣れた景色へと移り変わっていく。とうとう現実世界に引き戻されるんだなあ。

22時半 高松駅に到着。家族みんなが迎えに来てくれていた。家族や友達、先生に St. Petersburg での私の経験を話さないよね。どれほど素敵だったかがきちんと伝わったらいいなあ。これで私の今回の研修は終わった。

感想文



香川県立高松高等学校2年
和田 沙江子

Laugh Learn Play in St. Petersburg

気が付けば、帰国してはや半月が経ちました。St. Petersburg での2週間は私の人生においてかけがえのない素晴らしい日々となりました。あの時、この親善研修を知って応募して本当に良かったと思います。私の17回目の夏は今までの中で最高だったと言っても過言ではありません。日本を離れ、高校生2人だけで海外に飛び立つことに不安な面も沢山ありましたが、そんな不安は取るに足らないものだと思えるほど素敵で貴重な、そして自分を大きく成長させる経験ができたことを本当に嬉しく思います。

今回の経験を通して学んだ1番のことは、「笑顔が大切」ということです。相手が何を言っているのか分からず、自分の主張も満足に出来ない中で、唯一誤解がなく自分の気持ちを伝えることが出来る手段が笑顔でした。自分の気持ちを素直に表情に出すことでコミュニケーションはより一層深められたと思います。また、たった2週間で自分がこんなに変わるとは思ってもみませんでした。どんな年齢の人とも友達になり、心から笑い合えることが出来るようになりました。1歳半～80代の方々まで殆ど言葉の壁を感じることなく会話を楽しみ、自分らしく自然体で過ごした期間は有意義なものになりました。St. Petersburg で出会った人々のことが大好きです。たとえ言葉が満足に使えない状態でも、心と心が繋がっていると感じた瞬間は何度もあり、それがまた私の自信へと繋がったと思います。人と人との関わり合いがこんなにも温かく、素晴らしいものであることを教わりました。

今も、現地でお世話になった Host Family の Owen 家、Wells 家、McLean 家の方々とも連絡をとっています。学校での出来事や天候、Rays のことなど電子メールや手紙で情報交換しています。夏休み前には、想像もできなかったことをしている自分を嬉しく思います。書道家の Ruth さんは書道仲間と作っている会である Florida Gulf Coast Society の会報に私のことを載せて下さって、その原稿を送って下さいました。ここにも素晴らしい出会いがあったことを改めて感じました。

大西市長、Baker 市長をはじめ、高松市の関係者の方々、英語をあまり理解できない私にとことん付き合ってくれた Host Family の皆様、St. Petersburg 市の職員の方々、そして Art Center のの方々、私は皆さんの笑顔と優しさを一生忘れません。心から感謝しています。第1回目の高校生親善研修生としての自覚を持ち、自分なりに「文化の違い・友達・未来へ…」とテーマに沿っての研修が出来たと思います。今回学んだ数々のことを今後の人生に役立てていきたいと思っています。魔法にかけられたような、夢のような時間を私にくださったことに感謝したいと思います。ありがとうございました。

Meet Saeko Wada!

by Ruth Pettis
for Florida Gulf Coast Society of Scribes Newsletter, Autumn 2008

登山

Sometime in July friend Rev. Kim Wells telephoned me. Her family was to host a 17-year-old student ambassador from St. Petersburg's Sister City Takamatsu, Japan. The student had listed calligraphy as a major interest and a means through which she wished to communicate Japanese culture to citizens of St. Petersburg. Would I be interested in spending a few hours with her in August?

Absolutely!

So we arranged for Saeko Wada and me to meet at my studio on Wednesday, August 18, 2008.

Saeko and I had been talking only briefly when she set her eyes on some envelopes I had been addressing. Her delighted reaction about the lettering suggested that she is truly a lover of the hand-written word.

Saeko started taking calligraphy lessons at age 4 when her mother was concerned about her handwriting development. It was a required course throughout elementary and middle school. She won an award at age 11 for writing "climb mountain" (登山). Then when she reached high school, she chose it as her art elective.

She and one other teen were chosen by their city Takamatsu to be student ambassadors to the Sister City of St. Petersburg. She arrived here on August 1 and departed August 19 after enjoying a wide range of activities and home visits with two different families. In addition to participating in the lives of the host families, she went to a couple of baseball games at Tropicana Field, Dali Museum, St. Petersburg Museum of History, Sunken Gardens and much more. She also volunteered as an instructor's assistant at the Arts Center in St. Petersburg. She taught students who were around 10 years old to do a "happiness" (幸) character in the regular style of

calligraphy. In addition, she worked with the students on making flower decorations from tissue paper. Anything else? Yes, she also had to sweep the floor.

I shared with her the range of work that I do as a Western calligrapher from commercial applications to my more esoteric projects of manuscript books and my series of Shakespeare sonnets.

Saeko had brought brushes along, so I pulled out my green bottle of Japanese ink and some practice paper for Asian calligraphy. She confidently demonstrated some magnificent characters. First she wrote her name in regular style and then cursive. (See box below.)

Next she wrote "climb mountain" (登山). In the photo series at left, see Saeko writing those two characters in my studio and the final product at the top. She also wrote "peace" (平和) to give to the Wells family. Then "Japan" (日本), and the "happiness" (幸) that she had taught to Arts Center students in regular style and cursive.

Do these pictures and words convey her confident, bold strokes? Her wonderful enthusiasm and buoyant spirit? Her delight in visiting America and her joy about lettering?

Asked about her future plans, she said she has about another year and a half of high school, and then on to college. Right now she's thinking she'd like to study medicine.

Best of luck to Saeko!



Here is Saeko's full name (family name first) written at right in regular style and at left in a cursive style. She explained the pronunciation and meaning of each character:

和	wa	peace
田	da	field
沙	sa	sand
江	e	river
子	ko	child

Sae "sand river" refers to the beauty and purity of the sand in the Long River (what we refer to as the Yangtse) in China.



日誌・活動記録

香川県立高松高等学校 2年 太田 雅己

8月1日 (金)

6:20am 高松駅に集合。写真を撮ってリムジンバスに乗った。バス内であつってもらった梅ぼしのおにぎりを食べた。

10:00am 関西空港に到着。北海道への修学旅行のときに来たことがあるが、国際線は初めて。JTBのデスクへ行って航空券をもらう。NWのカウンターに行き、コンピュータで預ける荷物一個としてチケットをもらう。スーツケースを預けるが重量オーバー。手荷物に少しつめこんでゲートへ。飛行機の中はけっこう窮屈。通路側の人を外人だったので、トイレに立つ時に“Excuse me.”と言った。飛行機内での12時間、「ハリー・ポッターと謎のプリンス(上)」を読んだり、音楽を聴いたり、眠ったりした。途中でミニ・プレッツェルが配られたり、親子丼や焼きそばがでたりした。和田さんは寝ていたが、ワッフルが配られた。

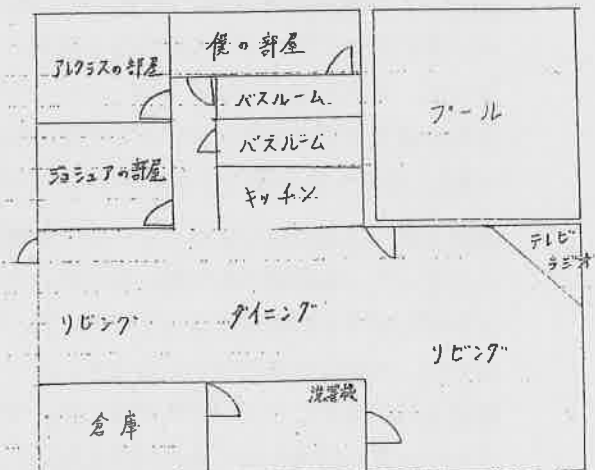
Detroit Immigration で警備員につかまった。たぶん、相手はホームステイだということが分からなかったのだろう。和田さんがスーツケースを取っておいてくれた。航空券を警備員が返し忘れていたせいで再び焦った。しかし、すぐに解決。スターバックスのコーヒー(\$2.4)を買った。赤いトラムに乗って移動しなければならないような、大形の空港だった。



Tampa 日本サービスのプランタムラ伸子さんとアン・ワイケルさんが飛行機から降りたところで出迎えてくれた。又、ほぼすべてのホストファミリーが風船とボードで出迎えてくれた。マックレーン family やシャダー family が来ていた。チーズバーガーを食べたいか聞かれたので yes と答えたら、最高のチーズバーガーを食べさせてくれると言った。全員でハンバーガー・ショップへ。

Five Guys ベスト・ハンバーガー賞を受賞したチェーン店。オニオンとマスタードをたのんだ。もちろんチーズバーガー。飲み放題のドリンクバーだったがカップが大きくて一杯で十分だった。ピーナッツが食べ放題だった。

アレクシスとジョシュアと共に家へ向かった。Howard Frankland Bridge の途中で虹を見た。アレクシスが幸運の印だと言った。アメリカの道路は3車線ずつくらいが普通なようだった。夕方のPIERやプール、ダウンタウンを見て回った。ダウンタウンには夜9:30くらいでもかなりの人がいた。シャダー家宅はダウンタウンから離れた静かな所にあつた。庭にバスケットゴールがあり、なぜか「和」と書かれた平たい石が2枚置いてあつた。土産を渡した。魚のせんべいを気に入ってくれた。フィッシングとスシが好きらしい。



8月2日(土)

折り紙をした。ボートは成功したが花は失敗。折り紙はジョシュアが好きなようだ。ビーチに行って朝食。スクランブル・エッグとベーコン、パンを食べた。アレクシスが写真を撮るために立ち上がった時に海鳥がテーブルの上に来て、アレクシスのミルク・チョコレート・コーヒーをトレーにぶちまけた。

スーパーマーケットへ買い物に行った。そのついでに肉じゃがの材料を買おうとしたが、なかなかそろわず、アジアマーケットをまわって、肉じゃが用のしらたきときぬさやを探した。さやえんどう (snow peas) が\$1.58、じゃがいも (メイクイーンというものはなかった) の、ロシアン〜を買った) と人参 (ひよろひよろなやつ) と玉ねぎを買った。\$2.77。どうやらフロリダにしらたきというものはないらしい。

家のプールに入った。ジョシュアといっしょにダイビングした。一回転ができた。ゴムボートをひっくり返して「パイレーツ・オブ・カリビアン」のまねごとをした。昼寝をして夜8:00まで寝過ぎた。「マルコ&ポーラー」という遊びをやった。



アレクシスとピザを買いに行った。ピザとサラダを食べた後、写真や本を使って日本を紹介した。ピザを買って待っている間にシャダーさんと軍の話をした。アレクシスの昔のボーイフレンドが徴兵されたいらしい。18歳の3人に1人が選ばれたらしいが、今はそんなことはないらしい。

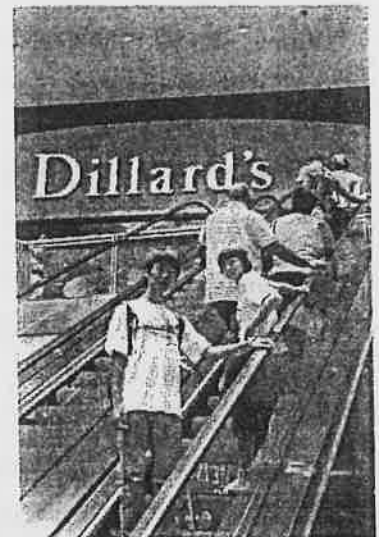
近所のマイクさんの家でジョシュアと彼の友達の2人とキャンプファイアをした。マシュマロを焼いてチョコレートと共にビスケットにはさんで食べた。いらぬ手紙を大量に焼いた。

8月3日(日)

Dunkin' Donuts アレクシスのボーイフレンドのデイビッドと共にダンキン・ドーナツに初めて行った。“Rays win!” と言えばドーナツが一個タダ。デイビッドが“Rays won!” じゃないのはなぜだろうかと言っていた。カプチーノを飲んだ。(実はこの前にバターご飯を食べていた)

International Mall in Tampa アップル・コンピュータの店があり、iPod touchで“What I've done”を聞いた。部への土産にタフイーを買った。サングラスはブランドものでかなり高かった。プーマのショルダーバッグを買った。セール品で\$40。ジョッシュがイヤホンを買うのを手伝った。てりやき&ピラフ&焼きバナナ (じゃがいもと間違えた) &ペプシ (水っぽかった)。自分への土産に2009年のカレンダーを買った。

肉じゃが 人参の皮むきにピューラーを使ったが、ひよろひよろでたいへんだった。肉は骨つきで厚いものだった。Snow peasのうち、きぬさやだと思っただけだけ抜き出して使った。じゃがいもを大きく切りすぎたため、なかなかやわらかくならず、焦った。途中で水を足して解決。最後水分を無くしすぎてパサパサした。皆 (デイビッド、アレクシス、ジョシュア) は喜んでくれたのでよかった。



ジョシュアと近所の友人2人と共に夕方の散歩。大学までいくつもりだったが途中で大雨が降ってきた。滝のようで、大粒で、当たるとけっこう痛かった。全員で走って帰ったが、ずぶぬれ。

8月4日(月)

Dunkin' Donuts 2回目。“Rays win!” ブルーベリードーナツと iced tea を頼んだ。お店の人と一緒に写真を撮った。



Tasco テニスコートでタグをつけて中央の緑のパックを取るゲームをした。アメリカの子供の足の速さに驚いた。ゲーム(TV)をした。ギターゲームとテトリス。その後、体育館でドッジボール。バスケットボールのボードに当てたら生き返れるというルールだった。昼はピザとアップルジュース。マークはジョシュアと小さいころから友達だったらしい。スティーブン、ブレンダンとも知り合った。

Art center でサエコを車に乗せ、ocean technology center へ行った。海底を映すカメラを3つつけた機械を見せてもらったが、説明が難しかった。アレクシスも冗談で「早くここから出してくれ～」と言っていた。

Bay Walk Root Beer Float を飲んだ。シップのにおいがした。犬のとなりに座ってギターを弾いている人の写真を撮った。\$1 を箱に入れた。

サエコのホストファミリーの Mr. & Mrs.オーウェンの家で、皆で夕食を食べた。サラダ、ターキー(&バーベキューソース) & ミニフランスパン&アイスクリームを食べた。小さな子供が二人いた。ジョシュアがちっちゃい子のおもちやのロケットをとばして屋根の上にあげてしまった。



Bay Walk の前にワニがいる Nature Park 横にある消防署へ行った。ジョシュアの父がそこで働いていた。消防士の服を着て写真撮影した。

8月5日(火)

朝食にバター&食パンを食べた。大型スーパーでジョッシュのリュックと弁当を買った。Rays の T シャツを探したが、良いデザインの M サイズがみつからなかった。

Bay Point Middle School ジョッシュの新しい学校の説明会へ行った。この学校では制服を採用していた。(悪い行動を正すため) けっこうきれいな学校だった。説明会では皆けっこうゆったりとしていて、説明を聞いていない人もいた。



Tasco Technology camp 東大卒のブレンダン・フェローと知り合った。メルアドを交換。町をきれいにするプロジェクトとして TASC0 に参加している子供たちがボランティアをするビッグ・イベントのスライドショーで Daughtry の “What about now” がつかわれていた。ブレンダンにひらがなを教えたり、ナルトの話をした。

昼にスシを食べた。生春巻とスパイシーガール(カリフォルニア巻きの上に辛いソースにからめた魚の唐揚げがのっているもの) や wasabi masago (とびっこ) を食べた。

Rays トロピカーナ・フィールドに到着。特別券をもらって他の人よりも早く入場。グラウンドに降りて選手の練習風景を見学。岩村あきのり選手と握手。サインボールをもらって、「勉強がんばって」と一言。一個 \$6 のホットドッグを食べた。ウィナーがジュシー。HH-10 の席についた。ホームベースのうしろあたり。



特別券をつかって一般の人が入れない階で食事をした。\$9 のサンドイッチ (オニオン・ホワイトブレッド・トマト・ターキー) とポテトサラダ (かなりニンニクくさい)。その後、HH-10 の席に戻って観戦。岩村さんはヒットを打って 3 塁へ。アイスクリームやドリンクやポップコーンなどが食べ放題のスイートルームへ。どうやら市の職員関係のようだ。Rays の圧勝。ゲーム終了後、人々がフィールドに降りて行った。



8月6日 (水)

12:00pm に帰宅。007 の Casino Royale を見たが途中で全員寝た。ソファで起きたら 3:30。ベッドに行き、9:30 まで寝た。

Dunkin' Donuts 昨日の勝利のおかげで“Rays win!” チョコレートドーナツを食べた。

Tasco 11:00~13:00 ケート・レクリエーション・センターでプールに入った。ジャンプ台から飛び降りた。ベンと一緒に行動した。昼ご飯はサンドイッチ。イチゴキウイというジュースを飲んだ。体育館でベースボール。ホームルームで何をやっているのか当てるゲームをした。自分は「タイガー・ウッズがホールイン・ワン」と「バレーボールが顔に当たった」をやった。

スナックタイムにジョシュアに会った。

\$1 でゲータレードのレモンライムを買った。ジョシュアの父が迎えにきた。彼の家で X-Box のアメリカン・フットボールをやった。父がポテトチーズとチーズマカロニ、チキンとガーリックトーストをつくってくれた。今までで一番おいしかった。スポンジ〜というギャグアニメを見た。野球をやった後でジョッシュとサイクリング。リスを見た。セブンイレブンでシェイクを買った。

夜ビーチボールを持って散歩した。アレクシスの母校の大学まで行った。ホテルのようで、とても美しい建物だった。実際に元がホテルで、戦時中は病院として使用されていたらしい。グラウンドでバレーボールをした。星がとてもきれいだった。

8月7日 (木)

朝食として、アレクシスがベーコンと目玉焼きを作ってくれたが、あんまり料理は得意ではないようだった。フォートデソトのビーチへ出発。

デイビッドに教えてもらった大豪邸の建ち並ぶ通りへ入った。本当に宮殿のようだった。将来は自分もこんな家に住みたいと思った。

Fort De Soto Tasco のお祭りをやっていた。Technology camp で出会ったブレンダンとも再会した。ブレンダンはカヌーをしに行った。僕とアレクシスは服を染めた。その途中で自分のヤシの木の書かれたTシャツも染まってしまった。水着に着がえてシュノーケリングをした。





帰る途中でレストランへ行った。ゴミのにおいがすごかったが、店内はきれいだった。川を眺めながらハンバーガーとフレンチポテトを食べ、iced tea を飲んだ。

家に戻り、荷造りをした。ジョシュアにおりづると箱をつくった。

Party 一日目にアレクシスが車で寄ってくれたビーチサイドのプールへ行った。ハエがすごかった。高松の事に詳しいSt Petersburgの職員と会って、日本語で話をした。ダイビング&ウォータースライダーで遊んだ。エドが2回転ジャンプをした。

ジョッシュ、アレクシス、デイビッドと別れてマックリーン家へ。荷物をほどいた後、出発。

パターゴルフ イギリスの旗と海賊船があり、コースに工夫が施されていた。ワニと大蛇がいた。エド 43/コーダ 44/自分 45 で負けたが最初にしてはなかなか。帰りにマックでオレオ入りアイスを買ってもらった。



8月8日(金)

Adventure Island 黄色いボードに乗って急なウォータースライダーを下る、ジェットコースターみたいなものがあった。又、うきわでくだるウォータースライダーもあった。遊び場(遊具のある場所)でティーンキャンプで会った子供たちと再会したが、ジョシュアには会えなくて残念だった。

日本にはない巨大なウォーターパークで楽しむことができた。~ドッツというアイスを食べた。けっこう楽しい一日だったが、疲れて帰りの車の中ではずっと寝た。

World Series Little League Baseball Game フロリダ vs アリゾナ。フロリダチームがホームランを3本連続で打った。10-0 ぐらいになり、フロリダチームが圧勝。彼らはこれから世界中の少年野球チームと戦うらしい(12歳のチーム)。エドの兄弟と会った。コーダの友人と行き、青色の毒々しいシロップのかかったアイスを食べた。舌と唇が青くなった。

帰りにファーストフード店へ行き、フレンチフライの大きいサイズとミルクシェイクを買ってもらった。フレンチフライは完食。シェイクは残した。



8月9日(土)

Luau マックリーンさんの友人が昨日結婚し、今日、ビーチでハワイ式の宴会が行われた。浜辺でボールを転がして、目標物に一番近い人が勝ちというゲームをやった後、コーダとfrisbeeで遊んだ。食事はビュッフェスタイルで、フロリダではピラフのようなものの上に黒い汁で煮込んだ豆をのせて食べるのが主流だと学んだ。巨大で中央からドライアイスの白い煙が出ているチョコレートケーキを食べた。絵描きさんに似顔絵を描いてもらった。キャニオンはハリー・ポッターの第7巻の分厚い本を読んでいた。

Soccer コーダとその友達4人とサッカー&フットボールをやった。フットボールは初めてでボールをつかむのが難しかった。トイレがあったのだが、なぜかすべて鍵がかかっていた。飲み物がなかったため、はやめにきりあげた。帰って飲んだ Mountain Dew がかなりおいしく感じた。

Beach volleyball コーダ&キャニオン&コーダの幼馴染と砂が敷き詰められたバレーボールコートへ行った。実際には有料なのだが、誰もいなかったので勝手に使った。結構薄暗く、ボールがあまり見えないのだが、なんとかカットできた。キャニオンは昔バレーボールをやっていたそう。他の2人もけっこう上手だった。

帰りにセブンイレブンに寄ってジョシュアと共に飲んだのと同じシェイクを買ってもらった。

8月10日(日)

Flea Market かなり暑かったが、外を見てまわった。あまりいいのはなかったが、野菜や魚、DVDやCDも売っていた。かまぼこ型の建物の中にはもう少ししっかりした店があって、FLORIDAと書かれたたまごの手を買った。

Dunkin' Donuts 4回目の“Rays win!”。アップルクリームのドーナッツを食べた。

Target 大型のショッピングストアで買い物。父へのネクタイを買った。

Wal-mart おかしを大量に買った。自分の財布も買った。帰りに“Steak n' Shake”でオレオ&バニラのシェイクを買ってもらった。

ダーリーンと買い物に行った。エビをたくさん買った。天ぷらにするためだ。アメリカではブロッコリーをてんぷらにして食べるらしい。ここでは日本人の人も働いているという話をオーナーから聞いたが、会うことはできなかった。帰りに軍用病院を見た。

ダーリーンが大量にエビを揚げた。天つゆがないのでうどんのだしを薄めて代わりにした。「ダヴィンチ・コード」を見たが、あまりよく分からなかった。



8月11日(月)

Busch Gardens アドベンチャー・アイランドの手前にある、テーマパーク、ブッシュ・ガーデンに行った。3つのジェットコースターに乗ったが、どれも酔った。アフリカに似せてつくられており、ゴリラの赤ちゃんを見ることができた。このテーマ・パークで一番良かったのは、“Ka Tonga”というショー。英語はよく分からなかったが、内容はきちんと推測できた。“Tidal Wave”“Congo River Rapids”でかなりぬれた。昼は“Zambia Smokehouse”で食べた。サンドウィッチとフレンチフライ、iced tea。夜のテーマパークはものすごくきれいだった。動物も多く、フラミンゴや馬もいた。

Steak n' Shake 前にキャニオンにシェイクを買ってもらった店で晩ご飯。定番のハンバーガーとスープ、オニオンリングを頼んだ。今回はシェイクはなし。サエコはバナナシェイクを頼んだが甘すぎるとTake outし、コーダがダーリーンに持って帰ったが、ダーリーンはあまり喜ばなかった。

8月12日(火)

朝食にシリアルにチョコソースをかけたものを食べた。エドの仕事用のパンで目的地へ。

History Museum 初代のRaysの選手の写真やダイアナ妃の遺物の数々がおさめられていた。昔から栄えていた土地であったということが分かった。

Vinoy とても豪華なホテルで、Raysとの対戦のためにほかの球場から来たチームの人々が泊まる所らしい。ここで市の職員の人の客としてランチに~wrapという肉や野菜が小麦粉のもちもちしたパンにくるまれているものを食べた。

Dali Museum ジョシュアやアレクシスと再会。Vinoy で一緒だった市の職員の息子のライスと会った。彼は福岡大学に通っているらしい。日本語がペラペラだった。プランタムラ伸子さんがダリの絵と、それに隠されたメッセージを語ってくれた。とても奥深く、説明なしでは楽しめなかっただろうと思った。その中でも、「やわらかい時計」の説明が印象に残った。一枚目はお芝居を見に行っている妻を待って時計をちらちらと見ながら、ワインとチーズを食べていたら、時間がたってチーズがとろけてきたことから思いつき、2枚目は1枚目の絵を土台に広島に落とされた原子爆弾の威力をおそれ、これからの世界はどうなっていくのだろうかという不安と戦争への反対を描いたものらしい。土産にコースターを買った。

Baywalk ライスとライスの母、サエコとジェラート屋へ。ティラミスとココナッツジェラートを買ってもらった。市長に読む手紙（大西市長さんから）を練習した。じゃんけんにかけて英語のほうになった。ライスは、とても形式的な英語だと言った。

City hall リック・ベイカー市長と会うことができた。すべてのホストファミリーが一緒になった。市役所にテレビ局があり、その中へ案内してもらった。玉藻公園での宴会のビデオもあった。

キャニオンとコーダの母方の祖母の家へ行った。エドとダーリンの結婚式のときの写真やまだコーダがパーマだった頃の写真があった。その前にキャニオンとコーダの St. Pete High School に行つて写真を撮ってもらった。フットボールの練習のホイッスルが鳴っていた。

Cha Cha Coconuts 四角錐をさかさにしたようなバランスの悪い建物がある pier の一番上で、ホストファミリー、市の職員の方と夕食。キャニオン、コーダ、ライス、ジョシュアと同じテーブルで食べた。ペプシは水っぽかった。タコスや魚のフライなどがあった。ブラウニーがでてきたが、甘すぎだった。食事に飽きてジョシュアとコーダと共に1階のショップを見てまわった。ペニーとクォーター2枚をプレスして記念コインをつくるおもしろい機械があった。野球選手のサインボールやバット、グローブを売っている店があった。グリーンデイの写真入りカードもあった。上の階へ戻つてジョシュアと外に出た。つきでた柱の先にコインを投げてうまくのせることができた。周りはペニーだらけだったが、2人はクォーターを投げた。Pier の建物の屋上から見る夜景はとても良かった。灯台の緑色の光線がぐるぐるとまわっていた。ジョッシュたちと別れて車へ。ミントのあめをもらったが、シップのにおいがした。

8月13日(水)

朝食にエドがパンケーキを作ってくれた。メイプルシロップをかけて食べた。又、「オーシャンズ12」を見た。ケータイで2度見たことがあるので、「ダヴィンチ・コード」よりはよく分かった。それを途中でやめて、キャニオンの車で出発。

MOSI 日本語で言う科学館。天災を体験するコーナーや生命や宇宙、磁石、電気に関するコーナーがあった。入場料は\$13ぐらい。とても勉強になるような場所だったが説明書きを読んで理解するのに苦労した。ハリケーン体験でベースメントにかくれていたのが印象的。他にも山火事や地震体験があった。カメラで顔をうつすとコンピュータが処理して未来の姿を見せてくれるというものがあったが、こわれていた。1F のショップにもおもしろいものがいろいろあって、コーダとロボットをリモコン操作してあそんだ。

Sinic ファーストフード店。駐車スペースにマイクがついていて、そこで注文した。チーズバーガーとフレンチフライをたのんだが、“Five Guys”の方が肉が厚くておいしかった。どちらかというマックに近い店。ペプシでまた失敗した。もうペプシは飲まない。

Target ハリーポッターの1巻~6巻のコレクションボックス \$51 で買った。自分の服を2枚買った。FLORIDA と CONVERSE の Tシャツ。各 \$10 ぐらい。

Dock Side Dave's 僕のホストファミリーが全員集まって夕食。店員が雑にテーブルをふくのを見て、星3つもとれないとキャニオンが冗談を言った。店で一番人気の“Black Grouper Sandwich”の“Batter Fried”をたのんだ。ものすごく大きな魚のフライが入ったサンドウィッチだったがおいしかった。“Waffle Fries”もたのんだ。

Candy Kitchen 日本で言う駄菓子屋。外のテラスで勉強している人がいた。店内はせまかったが、いろいろなキャンディーやガム、グミ、アイスが売られていた。中には何かの芋虫や蜂のおかし?があった。オレオ入りのアイスを買った。ジョシュアは氷砂糖などを買っていた。道路をはさんでホテルがあり、その向こう側はメキシコ湾だそう。ダーリーンが土産にと、タコやサメのかたちのグミを買ってくれた。

アレクシス、ジョシュア、デイビットと最後のお別れ。僕が使った部屋は「雅己の部屋」になったから、いつでも戻ってきていいよとアレクシスが言った。全員とだき合ってお別れをした。今回の滞在で一番長く一緒に行動したのは多分、ジョシュアだと思う。自分の感謝の気持ちがうまく伝わったと思う。

Chess 家に戻って荷づくりをした後、エドとチェスをした。かなりうまい相手、なかなかオフェンスにまわれず、クイーンまで先にとられてピンチにおちいったが、キングへのチェックを利用して得点の高い駒をとってだんだんとオフェンス-ディフェンスの関係が逆転した。最終的にポーンをクイーンにかえて、ルーク2個とクイーンでチェックメイトした。1時間50分の長い対決の中で頭をつかってヘトヘトになった。

風呂を掃除して、部屋をととのえてから、12:30にベッドへ。

8月14日(木)~15日(金)

Dunkin' Donuts 5回目にしてフロリダ最後のダンキン・ドーナツ。オールドファッション2個を買ってもらった。

Tampa airport 7:45ぐらいに着き、荷物をあずけた。キャニオンやコーダ、エドがいたのでスムーズに進んだが、重量オーバー。手荷物に服を追加してなんとか制限内におさめた。空港にはアン・ワイケルさんも見送りに来てくれていた。キャニオンから手紙を受けとって搭乗口へ。

飛行機が遅れて9:42発が10:00発になった。飛行機の中では「ハリーポッターと謎のプリンス(下)」を半分まで読んだ。オールド・ファッションを食べた。

Detroit airport 飛行機の搭乗口で知り合ったアメリカ人の大学生と再会したので一緒に昼ごはんを食べた。アメリカ最後のハンバーガー。次にサエコと別れてショッピング。GMのバッグとTシャツを買った。又、マグカップとミニッツメイドのオレンジジュースを買った。GMでのショッピングのとき、普通に店員と会話し、コインもきちんとあつかえたのが誇らしかった。今回の成果の一部を発揮できたと思う。日本人がけっこういた。

飛行機の中では①「ハリーポッターと謎のプリンス(下)」の残り半分、②iPodでLinkin Parkの“Leave out all the rest”を聞いた。③“The Episodes of American History”の残りを処理、④スクリーン(自分の目の前の大画面)で「カンフー・パンダ」を英語で見た。やることが尽きてけっこう暇だった。2回の食事では卵と肉・ポテト&パン・オレオ/フルーツ・サラダ、とり肉とピラフ、オレンジジュースがでた。ミニ・プリッツェルやサンドウィッチもでた。今回はとりも日本人の教師だった。日本人がとにかく多かった。



感想文

親善研修を終えて



香川県立高松高等学校2年

太田 雅己

2008年8月1日。タンパ空港からアレクシス（1週目のホストマザー）の車にジョシュア（ホストブラザー）と共に乗って彼らの家へ向かっている途中で、空にかかっている虹を見た。アレクシスはそれを幸運の印だと微笑みながら言った。彼女が言った通り、それからの2週間はとても楽しく、充実したものであった。その中で得たことのうち、自分が考えさせられたことを2つ書こうと思う。

私は1週目のホストファミリーと過ごしている間に市のティーン・キャンプに参加した。私はこのプログラムの中で12歳から15歳までの参加者の監督をするはずだったが、実際には彼らと一緒に様々なゲームを楽しんだ。その中で「日本とフロリダ、どちらが好きか」と尋ねられることがあった。私は以前から欧米に憧れを抱いていた。さらに実際にその地に立ってみて、そのスケールと街の美しさに圧倒されていた。だから私は「もちろんフロリダだ。自然が多くて、とてもきれいな場所だから」とためらわずに答えた。すると、別の少年が「多分、僕達が日本に行ったら、僕達は日本の方が好きだと答えるだろう。住み慣れた場所よりも、よく知らない新しい世界の方が良く思えるのではないか」と言った。私は意見をまとめる彼の能力にも驚かされたが、それ以上にその内容に考えさせられた。

先程にも述べたように、私には数年前から欧米に対する強い興味があった。今回の親善研修に志願する際に、「アメリカの人々に日本を紹介したい」であるとか、「自分の将来に役立てたい」などという理由を並べてはみたものの、やはり自分の中の一番強い動機は「憧れの地へ行ってみたい」という単純なものだったのかもしれない。

しかし今回、アメリカに住み慣れた人々と交流したことによって、自分は今までアメリカやヨーロッパという遠くの地域に目を向けすぎていたために、自分の住んでいる日本の良さなど考えもしなかったのだ、ということに気がつくことができた。もしかすると、存在に慣れてしまった自分の身近なものの中に、考えるべきものがまだまだ沢山あるのかもしれない。

私が考えさせられたことのもう一つは、2週間のホストファミリーに日本を紹介している時に聞いた話である。キャニオン（ホストシスター）は姉妹都市交流の一環として以前高松にホームステイしに来たことがある。そして又、コーダ（ホストブラザー）も野球の遠征で北京に行ったことがある。それゆえに、この2人は日本、もしくは中国の文化を独立したのものとしてとらえることができるのだ。しかし、来年にアジア文化の特別講座の教師をすることになっているため、勉強しているダーリンでも、日本や中国、韓国の文化の区別がつかないことが多い、ということだ。

確かに、私は滞在中に箸や醤油、天ぷらやスシなどの日本文化を目にすることはあった。しかし、ホストファミリーの話を知ると、文化交流に関してはより一層の努力が必要であると私は思った。もっとたくさんの人々が交流の機会を得られるようになれば、高松市民とセント・ピーターズバーグ市

民がお互いの文化をさらに深く知ることができるだろう。そのようにして、これからも高松市とセント・ピーターズバーグ市の親密な関係がずっと続いていってほしいと思う。

私はこの他にもたくさんの貴重な経験をすることができた。そして又、たくさんの人々と出会うことができたことを心から嬉しく思っている。

最後になりましたが、私にこのような素晴らしい機会を与えてくださったセント・ピーターズバーグ市・高松市関係者の皆様、温かく迎えてくださったホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました。

